

野迫川村個別施設計画

2022（令和4）年3月

奈良県野迫川村

目次

I 個別施設計画の概要	1
1. 個別施設計画策定の背景と目的	1
2. 個別施設計画の計画期間と範囲	4
II 公共施設を取り巻く環境	5
1. 人口の推移と推計	5
2. 財政状況	7
3. 公共施設の現状	10
III 公共施設に関する基本方針	12
1. 目指すべき村づくりの基本方針	12
2. 「野迫川村公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針	12
3. 施設更新の方向性と更新費用の試算	14
IV 施設類型別の基本方針	22
1. 対象施設の一覧	22
2. 個別施設の状況	25
3. 村民文化系施設の方針	27
4. 社会教育系施設の方針	33
5. スポーツ・レクリエーション系施設の方針	37
6. 産業系施設の方針	43
7. 学校教育系施設の方針	45
8. 子育て支援施設の方針	48
9. 保健・福祉施設の方針	50
10. 医療施設の方針	52
11. 行政系施設の方針	55
12. 公園の方針	57
13. その他の方針	60
V まとめ	64
1. 個別施設計画の達成による財政効果	64
2. 個別施設計画における現状認識と推進体制	66

本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

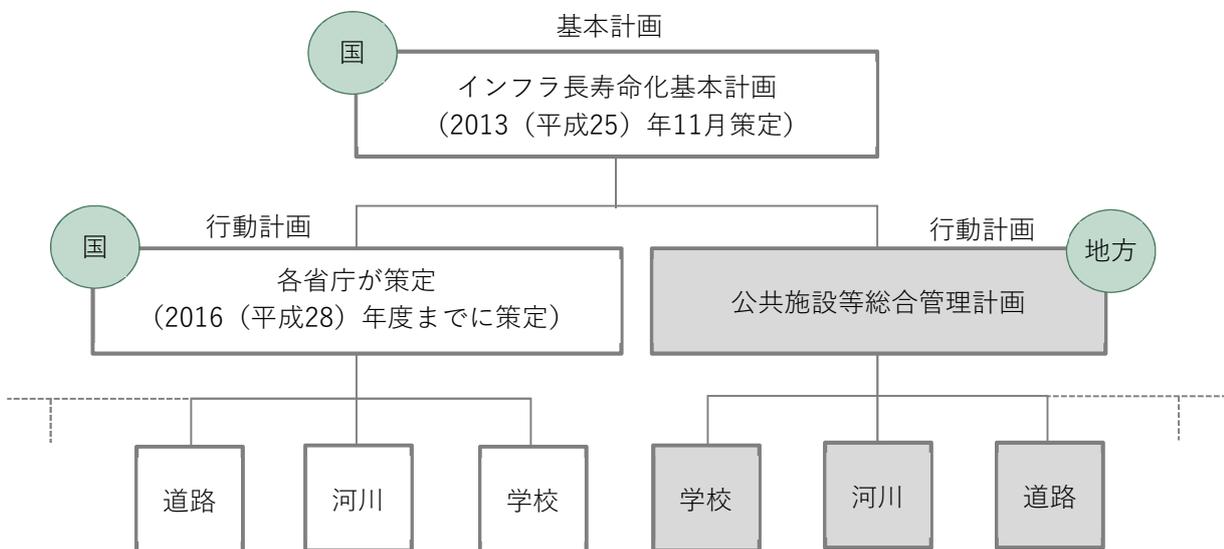
I 個別施設計画の概要

1. 個別施設計画策定の背景と目的

(1) 個別施設計画策定の背景

全国的に高度経済成長期に整備した公共施設の多くで老朽化が進行し、近い将来、一斉に更新時期を迎えようとしています。

国においては、2013（平成25）年11月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を定め、インフラを管理・所管する者に対し、当該施設の維持管理費や更新を着実に推進するための行動計画や施設ごとの個別施設計画の策定を要請しています。



(参考：総務省 [インフラ長寿命化計画の体系])

本計画の対象67施設のうち、1981（昭和56）年度以前に整備された旧耐震基準の建物の割合は16施設（23.9%）となっています。公共施設の老朽化に伴い、倒壊等の発生確率が高くなると、住民による安心安全な公共施設の利用に支障をきたすことが懸念されます。

安全に利用できる公共施設を提供するためには、大規模な修繕や建替え等を実施する必要があり、特に40年以上経過した公共施設に対する老朽化対策が課題となります。一方で、生産年齢人口の減少による税収の低下や高齢者の増加による社会保障費の拡大等により、今後、施設設備に充当できる財源は縮小することが見込まれるため、保有する全ての公共施設の数と規模をそのまま維持管理し、更新していくことは難しいと考えられます。

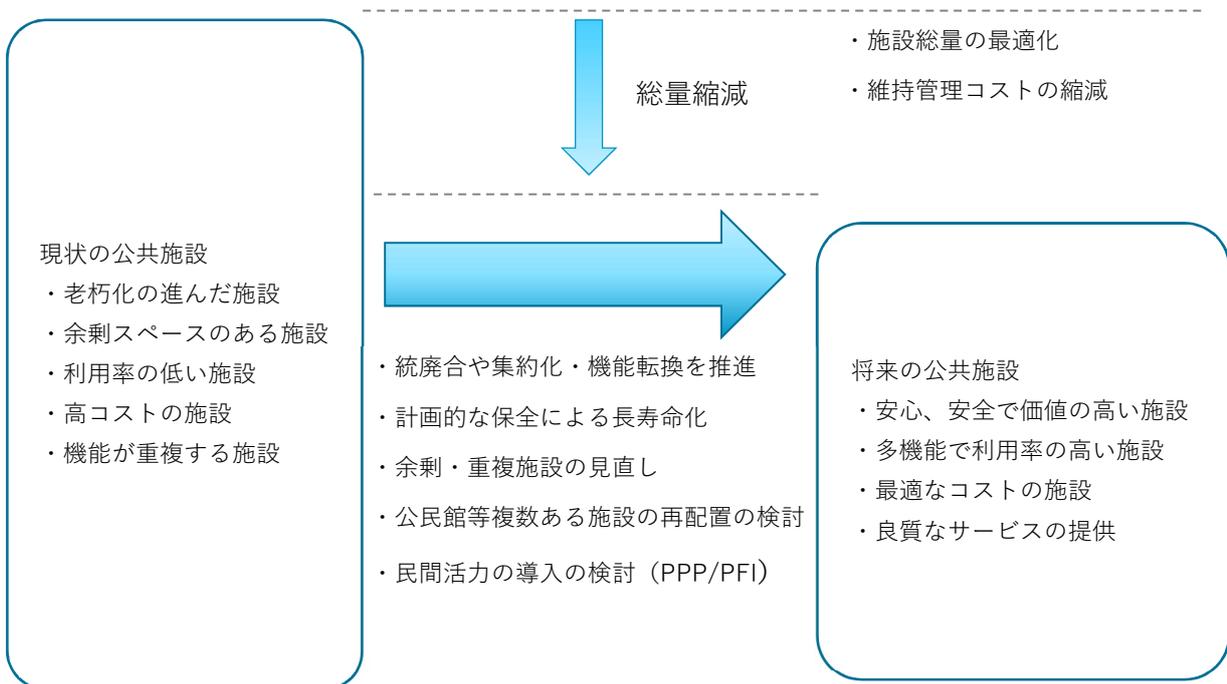
(2) 個別施設計画策定の目的

このような背景から、本村における公共施設等の適正配置や効果的・効率的な運営の方向性を示すべく、2017（平成29）年3月に公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的とした「野迫川村公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）」を策定しました。そしてこの度、総合管理計画の基本方針に基づき、公共建築物の施設ごとの取組方針等を示す計画（以下、「個別施設計画」という。）を策定します。

◆個別施設計画に基づく施設ごとの主な取組方針◆

- 財政制約下での適正な資産更新（更新や統合・廃止等）
- 人口減少時代に伴う適正施設数の調整
- 既存施設の長寿命化工事による経済的耐用年数の延長

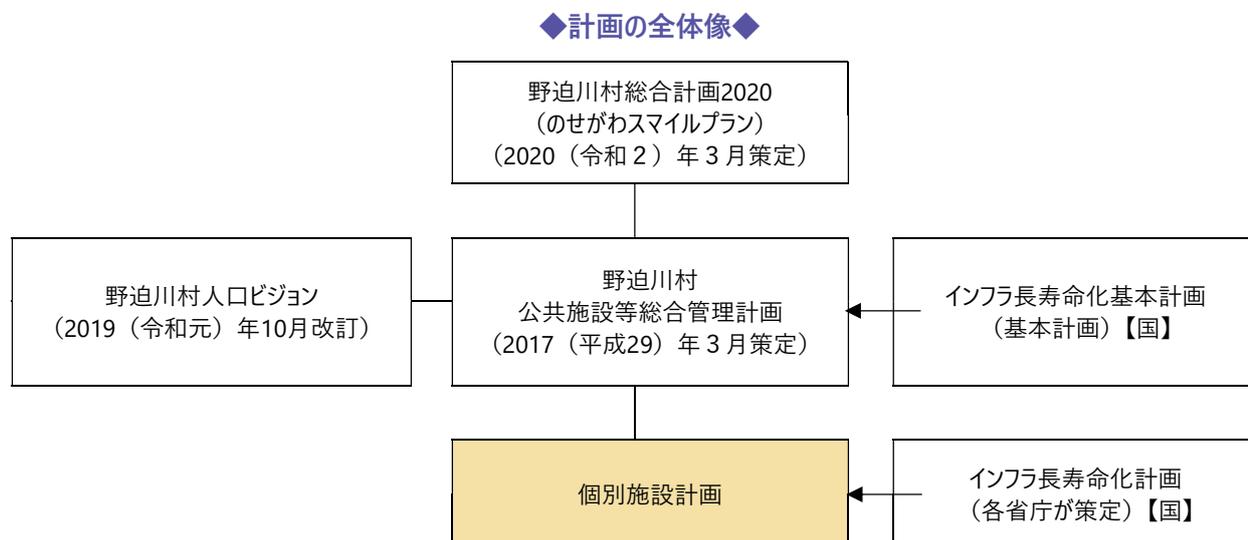
◆個別施設計画の目指すべき方向性（持続可能な村づくりの実現へ）◆



(3) 個別施設計画とその他の計画との位置づけ

本村では最上位計画である「野迫川村総合計画2020（のせがわスマイルプラン）」のほか、各種計画に基づき村づくりを行っています。本計画は、これらの各計画を整合し、補完するものです。

各種計画の全体像は、以下のとおりです。



2. 個別施設計画の計画期間と範囲

(1) 計画期間

計画期間は、2022（令和4）年度から2056（令和38）年度までとします。ただし、本計画は今後の上位・関連計画の更新や社会・経済情勢の変化等に応じて適宜、計画の見直しを行っていきます。

(2) 対象施設

■本計画の対象施設

	施設分類名	主な施設
1	村民文化系施設	山村振興センター、生活改善センター、公民館
2	社会教育系施設	平維盛歴史の里
3	スポーツ・レクリエーション系施設	ホテルのせ川、キャンプ場
4	産業系施設	地場産業振興センター
5	学校教育系施設	旧小中学校
6	子育て支援施設	野迫川村児童館
7	保健・福祉施設	グループホーム「ゆうゆう苑」
8	医療施設	診療所
9	行政系施設	役場庁舎
10	公園	鶴姫公園、弁天公園
11	その他	グリーンセンター、職員住宅

注) 公営住宅、野迫川村一貫校は、別途個別施設計画を策定しているため、本計画では対象外としています。

(3) 議会や住民との合意形成

本計画の対象は広範囲にわたるため、施設を利用する住民への影響は大きいといえます。このため、本計画の改訂等を行っていくうえでは、住民ニーズの把握に努めるとともに情報公開を積極的に進めながら、住民に理解と協力を求め、効率的で効果的な施策を実施するよう配慮します。加えて、以下の考えのもとで議会や住民との対話の機会を設ける等、合意形成を図りながら取組を進めていくものとします。

- ① 公共施設が抱える課題を広報誌やホームページへの掲載などで住民に分かりやすく知らせ、今後の公共施設の在り方を共に考えていきます。
- ② 計画段階においては、常に最適な内容を検討するとともに、段階を追って合意を得ていくこととします。なお、老朽化が著しい施設等で早急な対応が必要な場合は、長期的な計画とは切り離れた短期的な取組として実施していくものとします。

II 公共施設を取り巻く環境

1. 人口の推移と推計

国勢調査による1980（昭和55）年以降の本村の人口は、1985（昭和60）年に1,213人まで増加しましたが、その後は人口減少が進み2020（令和2）年には357人となり、最も人口が多かった1985（昭和60）年と比較すると856人の減少（△70.6%）となりました。

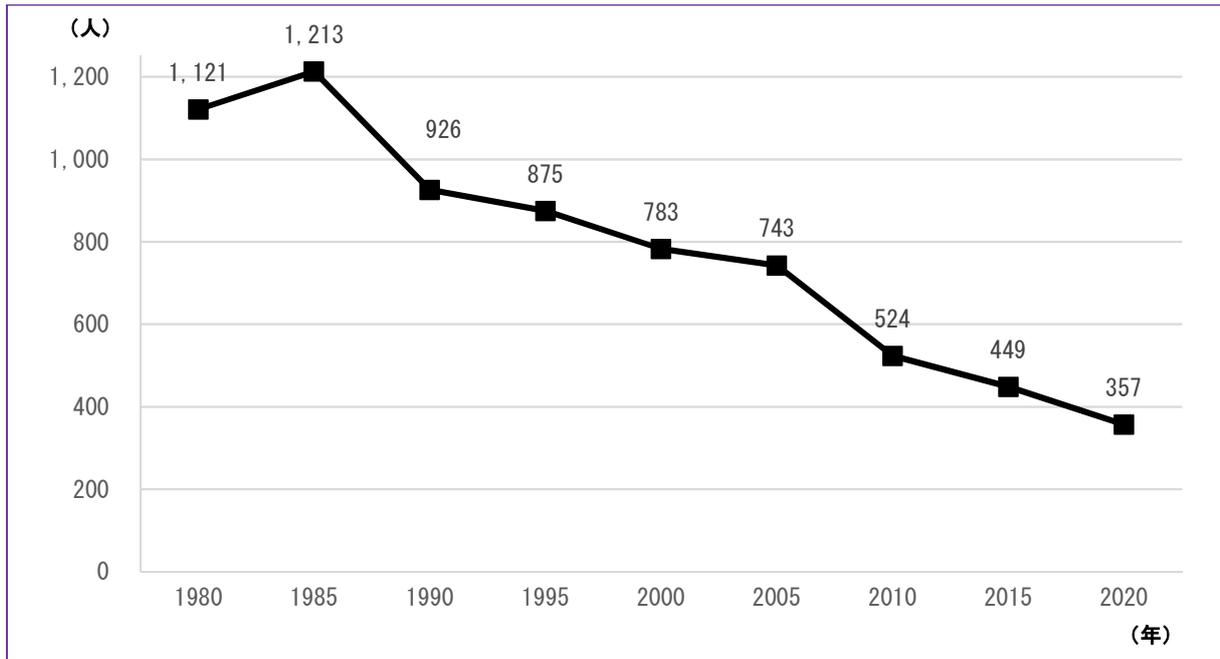
年齢3区分別人口を見てみると、1985（昭和60）年には922人だった生産年齢人口が2020（令和2）年には164人となっており、総人口の減少と生産年齢人口の減少との間に極めて高い相関関係があるといえます。0歳～14歳の年少人口の占める割合についても、最多であった1980（昭和55）年の146人から2020（令和2）年には12人まで大幅に減少しています。これに対し、2020（令和2）年度の総人口に占める老年人口の比率は50.4%と経年的な増加傾向にあり、少子高齢化が著しく進行しています。

人口ビジョン（2019年10月改定）では、現在の野迫川村の人口の将来展望として2020年に424人、2060年には356人としています。現状、2020年の人口実績が343人と、目標人口を下回っていますが、本村では社会移動による人口減少対策に重点を置き、以下を踏まえた取り組みにより目標を達成することを見込んでいます。

- ① 就業機会の創出による生産年齢人口の転出抑制
- ② 新たな就業者の受け入れなどによる転入促進
- ③ 野迫川村の潜在的な資源を生かした魅力づくりと移住促進（村営住宅を転入者の住まいにするなど）

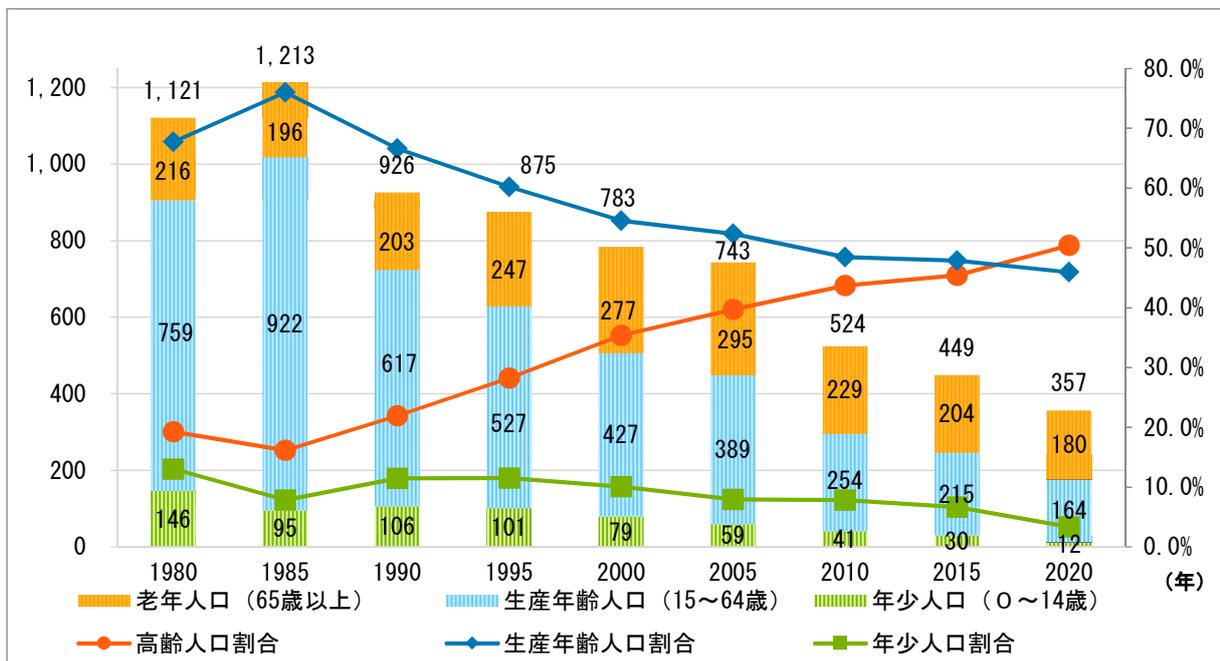
こうした取り組みを通じた村づくりを進め、人と自然と経済の域内循環を確保し、地道な人口減少対策を実行していきます。

◆総人口の推移◆



(資料：国勢調査)

◆年齢3区分別総人口の推移◆



(資料：国勢調査)

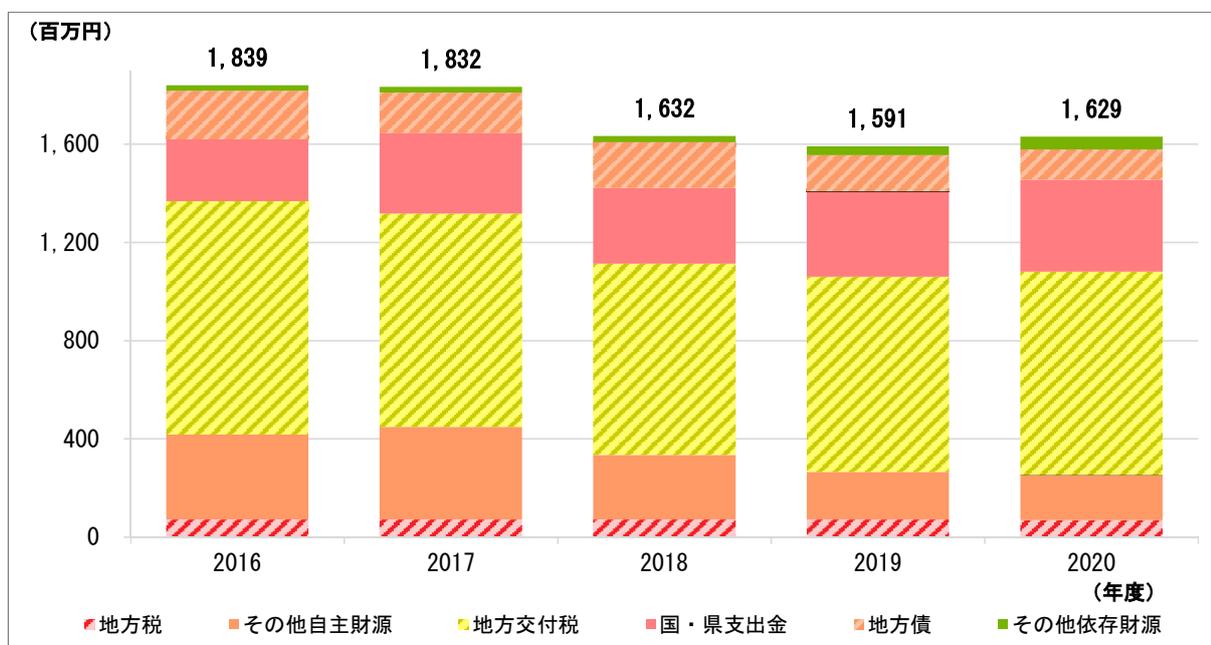
2. 財政状況

(1) 歳入決算額の推移 (性質別・普通会計決算)

本村の歳入は16億円から19億円の規模で推移しています。

2020（令和2）年度の歳入の主な内訳は、依存財源（国または都道府県から交付される収入）である地方交付税が828百万円と最も多く、全体の50.8%を占め、地方債が123百万円となっています。主な自主財源（地方公共団体が自らの権限に基づいて自主的に収入できる財源）である地方税は70百万円であり、歳入の4.3%を占めていますが、人口の減少に伴い、その金額は年々減少しています。その他依存財源（各種交付金や譲与税など）は近年、増加傾向にあります。その一方で、その他自主財源（財産収入や寄付金など）は近年、減少傾向にあります。

◆普通会計における決算の推移（歳入）◆



(単位：百万円)

年度	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
地方税	72	72	72	71	70
その他自主財源	345	377	262	194	183
地方交付税	950	868	778	794	828
国・県支出金	255	329	308	349	374
地方債	195	163	188	147	123
その他依存財源	22	23	24	36	52
歳入合計	1,839	1,832	1,632	1,591	1,629

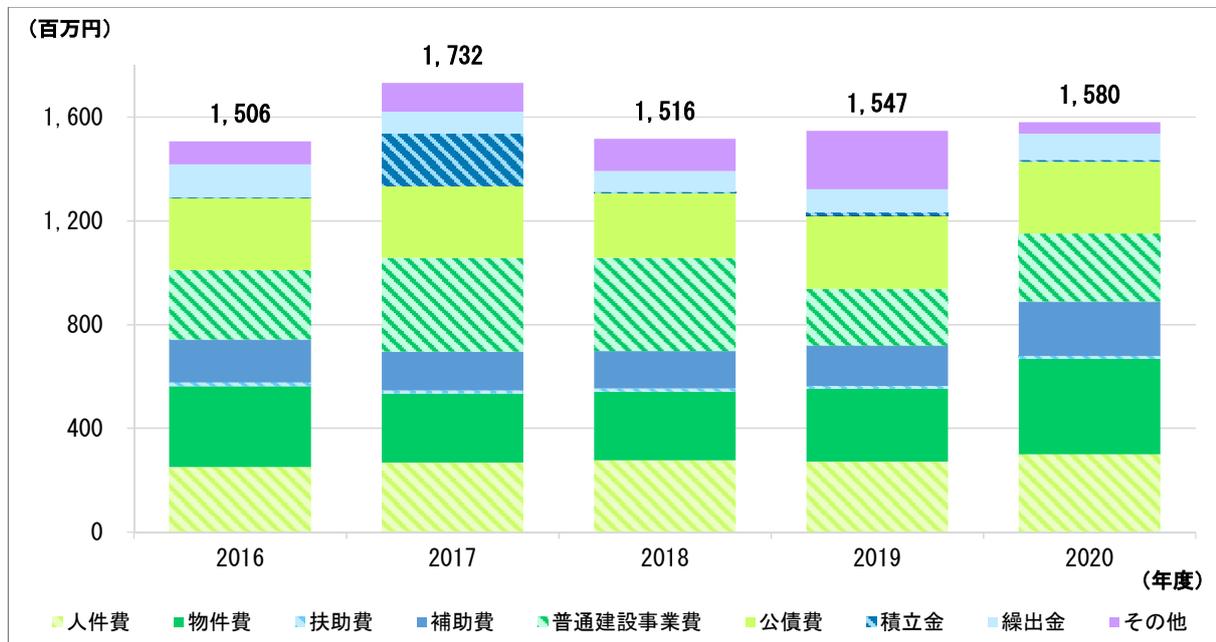
(資料：2016（平成28）年～2019(令和元)年度：財政状況資料
2020（令和2）年度：歳入歳出決算書)

(2) 歳出決算額の推移 (性質別・普通会計決算)

本村の歳出は15億円から17億円の規模で推移しています。

2020(令和2)年度の歳出の主な内訳は、物件費が368百万円で、全体の23.3%を占め、補助費等(村から他の地方公共団体や民間に対して、行政上の目的により交付される現金的給付に係る経費)が209百万円となっています。扶助費(社会保障制度の一環として社会福祉を支えるための経費)の占める割合は、近年減少していますが、今後の高齢化の進行次第で増加することが考えられます。その他(維持補修費など)は近年増加傾向にあり、公共建築物の95.4%が築20年以上である本村においては、計画的な施設の管理を行うことが歳出の抑制となると考えられます。

◆普通会計における決算の推移(歳出)◆



(単位: 百万円)

年度	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
人件費	250	268	276	271	300
物件費	312	265	265	281	368
扶助費	15	13	12	11	11
補助費等	165	149	144	157	209
普通建設事業費	268	362	360	217	263
公債費	277	276	252	282	277
積立金	2	203	2	13	8
繰出金	128	85	81	89	100
その他	89	111	124	226	45
歳出合計	1,506	1,732	1,516	1,547	1,580

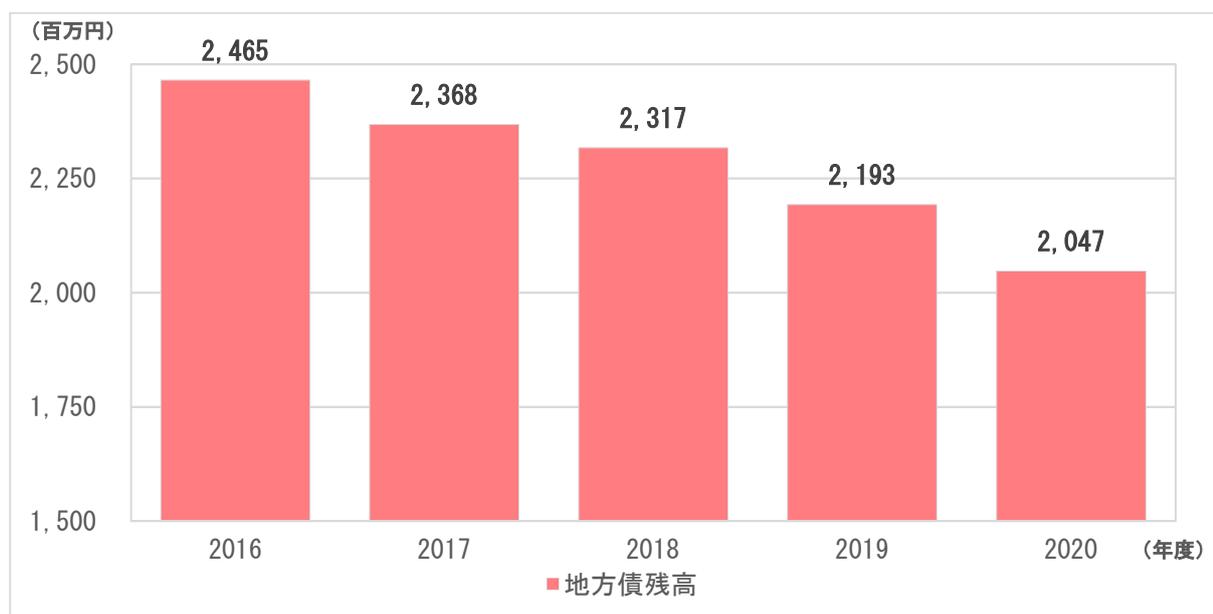
(資料: 2016(平成28)年~2019(令和元)年度: 財政状況資料
2020(令和2)年度: 歳入歳出決算書)

(3) 地方債残高の推移

本村の地方債の残高推移は以下のとおりです。2020（令和2）年度にかけては、2,047百万円となっております。

本村では、将来にわたって長期間利用する施設の建設・整備等を行う場合に、必要に応じて、地方債を発行しています。地方債の償還は長期にわたり、将来の財政運営の硬直化につながるので、地方債の発行にあたっては慎重に検討し、発行額の抑制に努めています。

◆地方債残高◆



(単位：百万円)

年度	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
地方債残高	2,465	2,368	2,317	2,193	2,047

(資料：2016（平成28）年～2019(令和元)年度：財政状況資料
2020（令和2）年度：歳入歳出決算書)

3. 公共施設の現状

(1) 2020（令和2）年度末における対象公共施設の概要

これまでに、本村では人口変動や行政需要に対応して、学校、庁舎、村営住宅等の公共施設や道路、橋梁、管きょ等のインフラ系施設を建設し、村民の生活基盤、地域コミュニティの拠点等として大きな役割を果たしてきました。

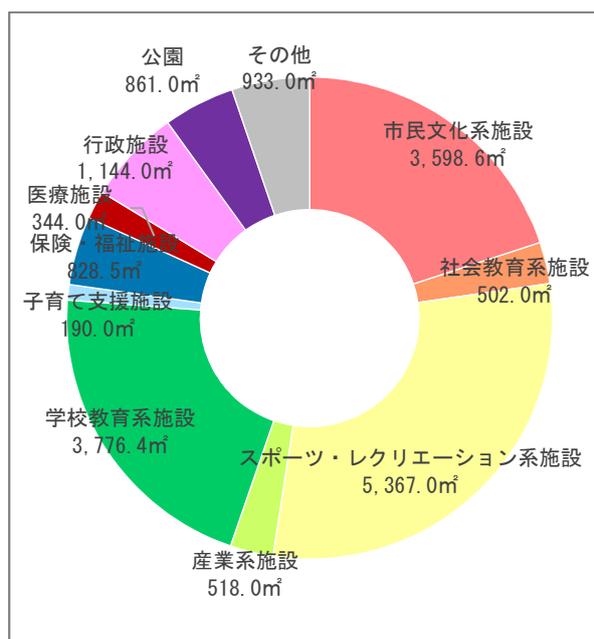
このうち、本計画が対象とする公共施設の建物数は67棟、総延床面積は18,062.5㎡となります。

このまま同量の公共施設を保有し続けた場合、公共施設等の維持に係る村民の負担も大きくなっていくことが予想され、施設総量の適量化が必要になると考えられます。

施設類型別では、総延床面積が最も多いのはスポーツ・レクリエーション系施設で、16施設で5,367.0㎡（29.7%）を占めています。

◆本計画の対象施設における建物数と総面積◆

施設類型	建物数	総延床面積（㎡）
村民文化系施設	15	3,598.6
社会教育系施設	7	502.0
スポーツ・レクリエーション系施設	16	5,367.0
産業系施設	1	518.0
学校教育系施設	6	3,776.4
子育て支援施設	1	190.0
保険・福祉施設	1	828.5
医療施設	3	344.0
行政施設	3	1,144.0
公園	5	861.0
その他	9	933.0
合計	67	18,062.5

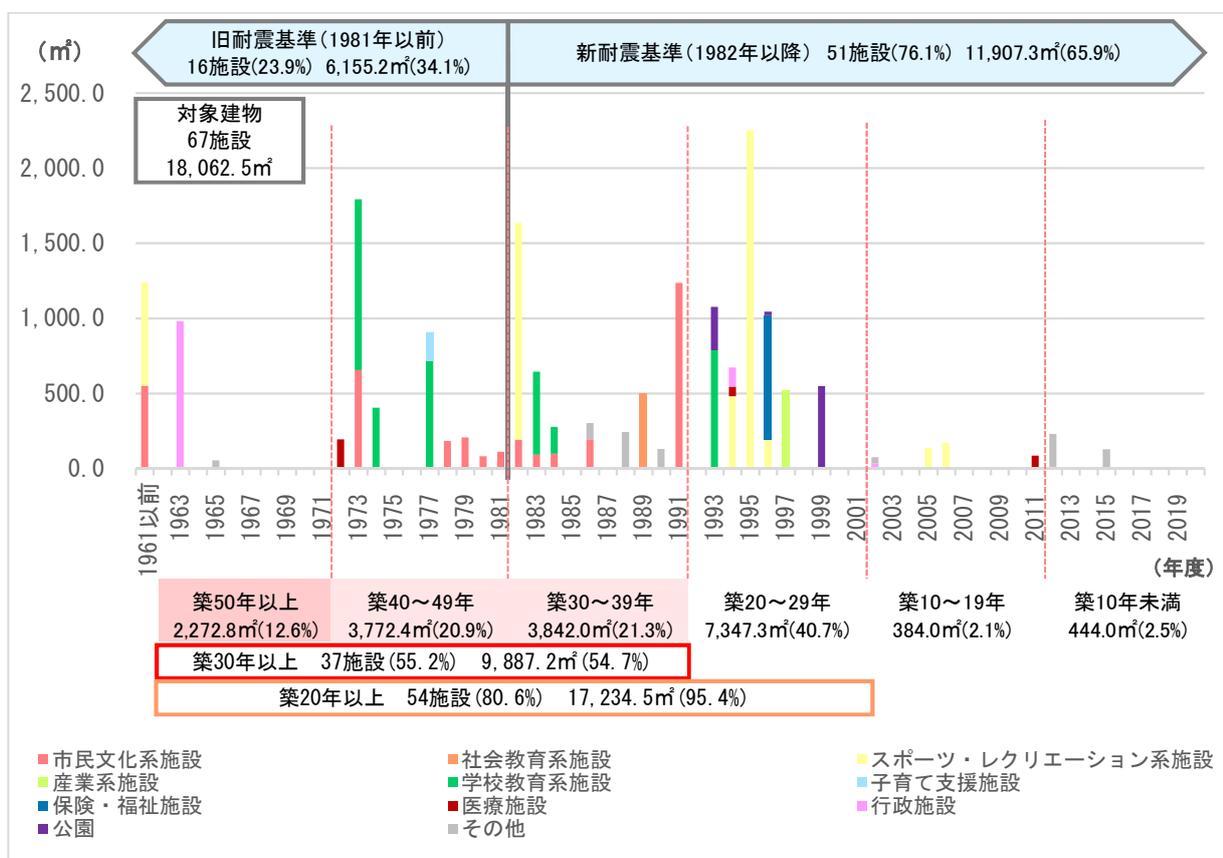


(2) 築年度別整備状況

築年度別整備状況をみると、1991（平成3）年度に整備された施設の延床面積が最も大きくなっています。これは公民館の整備によるものです。

築年数で見ると、築30年を経過している施設量は37施設（55.2%）で総延床面積は9,887㎡（54.7%）となっており、築20年を経過している施設量は54施設（80.6%）で総延床面積は17,235㎡（95.4%）となっています。また、1970（昭和45）年から1989（平成元）年にかけて整備した施設も多く、施設量は30施設（44.7%）で総延床面積は7484.4㎡（41.4%）となっています。

◆築年度別整備状況◆



(2021（令和3）年3月31日現在)

III 公共施設に関する基本方針

1. 目指すべき村づくりの基本方針

個別施設等の更新にかかる基本方針及び施設類型ごとの管理方針については、上位計画である「野迫川村公共施設等総合管理計画」と「野迫川村総合計画2020（のせがわスマイルプラン）」に準じます。」

2. 「野迫川村公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針

今後、このまま全ての公共施設等を保有し続けた状態で、従前の管理手法のまま維持補修や建替えを行うことは極めて厳しい状況であるといえます。したがって、公共施設等の保有規模及び管理手法の見直しや、更新時期の分散化を図る必要があります。

厳しい財政状況の中、総人口や人口構成の動向、地域住民のニーズに対応した村づくりを目指し、総合計画との整合性を確保しながら、老朽化した施設の改修・更新を計画的かつ効率的に推進することが求められます。本村の公共施設等の現状と課題を踏まえ、長期的な視点で目指すべき管理方針を定め、全庁的な体制で取り組みます。

■ 管理に関する基本的な考え方

点検・診断等の実施方針

従来は個別に実施していた点検・診断等を、庁内で情報共有しながら、計画的に実施していきます。また、施設の劣化による事故等を未然に防ぐとともに、随時点検の履歴等を確認できる仕組みを整備します。

維持管理・修繕・更新等の実施方針

築30年以上経過している建築物が多いことから、今後10年間に施設の大規模改修のピークが来ることが想定されます。今後は、施設の劣化状況等に応じて、計画的に維持管理・修繕・更新等を行っていきます。

安全確保の実施方針

近年、人口減少及び施設の老朽化が進んでいることから、使用されていない公共建築物も少なくありません。

このような状況の中、点検・診断等により高度の危険が認められる施設については、安全・安心に利用できるよう維持・修繕に早急に取り組むこととし、老朽化等により危険性が高い施設については、廃止・撤去も含めて検討します。

なお、撤去等に時間を要する場合は、防護柵の設置等、立入禁止の措置を講じ、安全確保に十分な配慮を行います。

耐震化の実施方針

村が所有する公共建築物の約3割程度が未だに地震への対策が不十分な状態です。財政状況を踏まえて計画的に耐震診断・耐震改修を実施し、安全の確保を図ります。

長寿命化の実施方針

施設の損傷が致命的となる前に、予防的な修繕を計画的に実施することにより、健全な状態を維持しながら、ライフサイクルコストの縮減を目指します。

統合や廃止の推進方針

まず施設利用の促進を十分検討し、特に地域住民のボランティア活動や子育て支援等での利用の活性化を目指します。利用者数の減少や費用縮減の観点等から、必要に応じて施設の複合化や集約化を検討します。

また、用途が重複する施設は機能集約することとし、建替えの時期には統廃合等も含めて検討を行います。

なお、廃止した公共施設については、他用途への転用や民間への売却等、有効活用を図ります。また、老朽化等によって転用・売却等が見込めない施設は、劣化による倒壊等、周辺環境に影響を与えないように速やかに解体・撤去を行います。

持続可能な施設運営を確立するため、全庁的な組織（横断組織）が中心となり、PDCA（計画・実行・検証・改善）サイクルを活用して進捗管理や見直しを行い、計画を進めていきます。

また、公共施設等のマネジメントの推進にあたっては、必要に応じて村民等への情報提供を行い、村全体で認識の共有化を図ります。

なお、今後の本計画の進捗状況や社会経済情勢、野迫川村の財政状況等の変化、上位・関連計画の策定・改訂等に対応して、概ね10年毎に内容の見直しを行うものとします。

さらに、本計画やそれに基づく取り組みを、職員に定着させるために必要な研修会等を開催するとともに、必要に応じて、専門的知識や能力を有する有識者や専門家等の協力を得ながら進めます。

庁舎等の一般施設をはじめ公共施設等全般について、災害時の避難所等に指定されているものや、復旧、復興において重要な拠点となるようなインフラ施設については、重要度を勘案し修繕、改修を優先して計画的に行っていくとともに、必要に応じて調整会議等を開催し、個別に方針等を検討します。

教育文化施設、学校等の義務教育施設においては、そのほとんどが避難所等に指定されているため、耐震化等の改修を優先して計画的に行い、必要に応じて、少子化等の社会的情勢を勘案し施設全体のあり方を含め効率的、効果的に運営できるよう継続的に見直しを行い、維持管理に努めます。

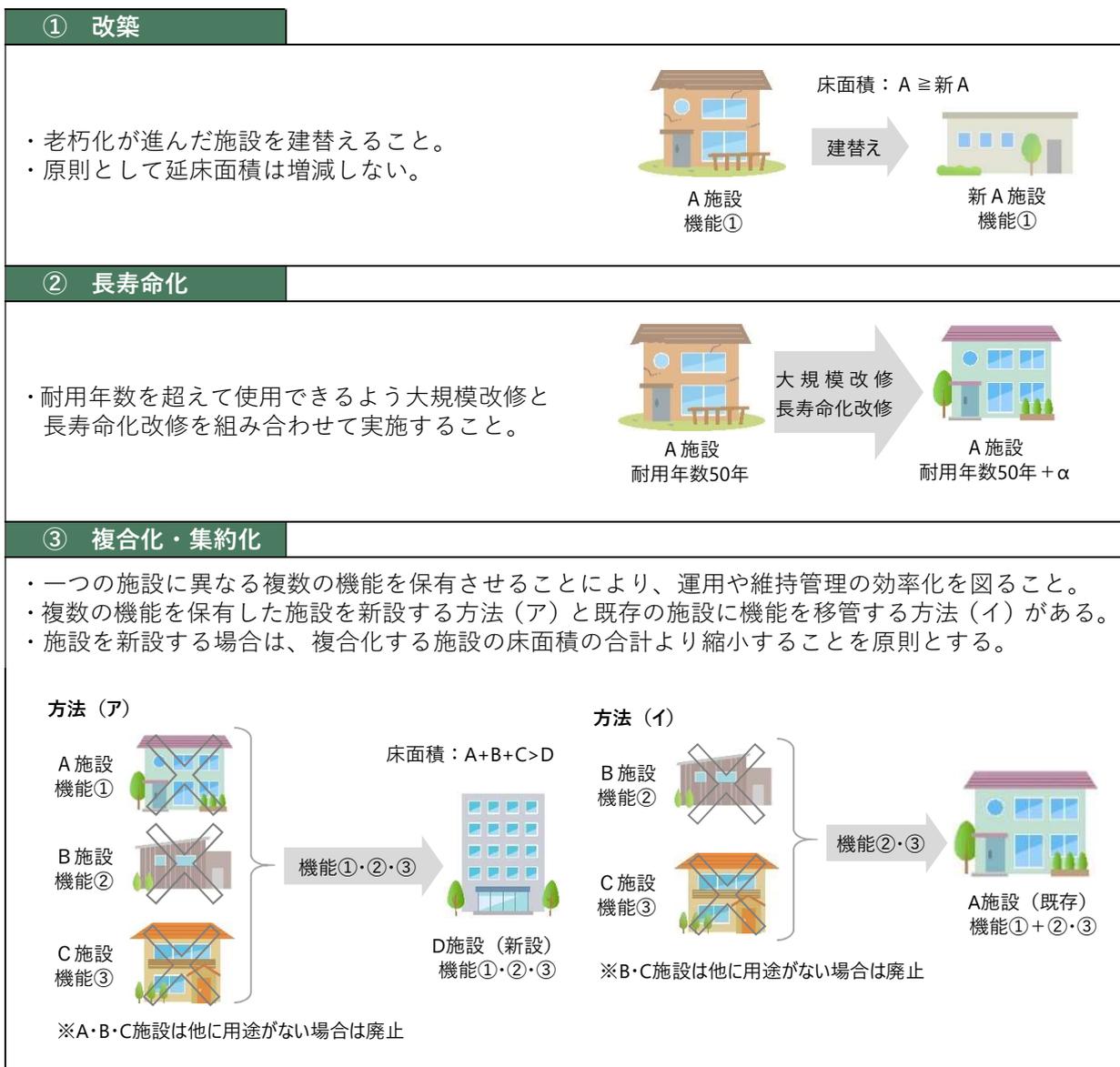
3. 施設更新の方向性と更新費用の試算

(1) 施設更新のパターン

上位計画である総合計画と総合管理計画の方針を踏まえ、本計画の本題である個別施設の取組方針について検討します。

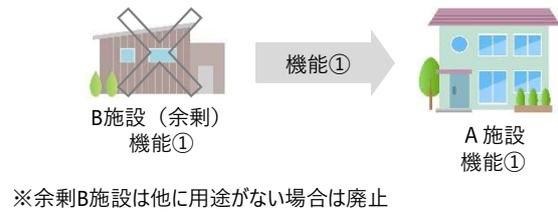
個別施設の取組方針を検討する前提として、施設更新のパターンを把握する必要があります。施設更新とは単に「改築」するか、しないかの選択をするだけでなく、施設の状況に合った様々なパターンがあります。代表的な施設更新のパターンは次のとおりです。

◆施設更新のパターン◆



④ 統廃合

- ・ 余剰施設を同じ機能の施設に統合することにより保有量を最適化すること。



⑤ 用途変更

- ・ 機能を廃止し新たな機能を保有させること。



⑥ 譲渡

- ・ 地域や民間に現状有姿で譲渡すること。



(2) 施設更新の方向性の考え方

①施設の現況把握（第1ステップ）

施設更新の方向性を決定するために、2段階に分けて評価を行います。まず、第1ステップとして、個別施設の現況を把握します。縦軸にはハード評価として、「施設の残寿命」と「建物の耐震性」、「建物点検の結果」を設定し、施設の性能面を評価します。一方、横軸にはソフト評価として、「施設利用率・利用者数」と「コスト面での効率性」、「重要度」を設定し、施設の機能面を評価します。この2つの軸から施設を評価することで、施設の現況を4つに分類して把握します。

◆ソフト評価とハード評価◆

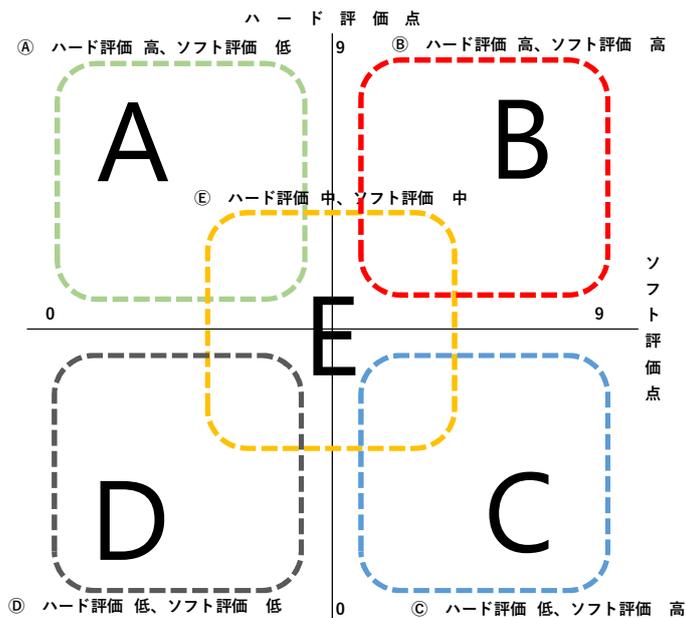


<参考>

ハード評価・ソフト評価による施設の現況と施設更新のパターンとの相関関係は次のとおりです。

例えば、「建物のハード評価は高いが、ソフト評価は低い」場合、建物は維持しつつ、他施設の機能を取込むことで利用状況の改善を図ることが出来ます。このように、施設の現況把握による「建物維持」と更新パターンの「集約化」には親和性があると言えます。

◆ハード評価・ソフト評価と施設更新のパターンとの相関関係◆



	ハード評価	ソフト評価	施設更新のパターン	概要
A (左上)	高	低	長寿命化、複合化・集約化(存続)、用途変更など	建物のハード評価は高いが、ソフト評価は低い。建物は維持しつつ、他施設の機能取込や運営方法の見直し等により、利用状況の改善を図る必要がある。
B (右上)	高	高	長寿命化、複合化・集約化(存続)など	建物のハード評価が高く、ソフト評価も高い。現状維持とするか、改善が必要な施設の機能を取込み、運営規模を拡大する取組が考えられる。
C (右下)	低	高	改築、複合化・集約化(存続/廃止)、民間譲渡、など	建物のハード評価は低い、ソフト評価は高い。改築により性能面向上と同時に機能集約を図る、又は機能を性能の高い他施設へ移転するなどの取組が必要となる。
D (左下)	低	低	統廃合(廃止)、民間譲渡など	建物のハード評価が低く、施設のソフト評価も低い。施設の存続を見直す必要があり、除却の検討対象となる。
E (中央)	中	中	全てのパターンの可能性がある	建物のハード評価及びソフト評価ともに平均的。人口変動、近隣の施設配置、同種の施設との相関関係などを総合的に考慮し、方向性を定める必要がある。

③ 施設更新の方向性の決定（第2ステップ）

第2ステップとして、①の現況把握を基に施設更新のパターンを考慮して、施設更新の方向性を決定します。方向性の決定においては、ハード評価とソフト評価による評点と更新パターンを単に組み合わせるのではなく、個別の具体的な状況を総合的に勘案して決定することとします。

また、方向性に応じて、従来型（事後的な修繕や建替えを実施すること）及び長寿命化型（予防的な修繕等を計画的に実施することで機能の保持・回復を図ること）それぞれの更新費用の試算を行います。

「施設更新のパターンと方向性の関係」と「方向性による更新費用の試算に与える影響」は次のとおりです。

◆施設更新のパターンと方向性の関係◆

方向性	施設更新のパターン							
	①改築	②長寿命化	③複合化・集約化		④統廃合		⑤用途変更	⑥譲渡
			される側	する側	される側	する側		
方向性	改築	長寿命化	維持 廃止 除却	改築 長寿命化 維持	維持 廃止 除却	改築 長寿命化 維持	改築 長寿命化 維持	除却

方向性	分類の基準	更新費用試算時の条件		例 (長寿命化型の場合)
		従来型の場合	長寿命化型の場合	
長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ■ハード・ソフト評価がともに低くないこと ■重要性の高い施設であること ■機能集約の対象施設がない場合 ■集約、複合化により機能集約する場合 	「改築」として試算	「長寿命化」として試算	・計画的に予防的な修繕を行い、建物の寿命を延ばすように保全を行う。
改築	<ul style="list-style-type: none"> ■ハード評価が低いこと ■築年数40年以上、かつ「耐震性」の点数が低い(0~1点)こと ■機能集約の対象施設がない場合 ■集約、複合化により機能集約する場合 	「改築」として試算	「改築」として試算	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化等で危険な建物を建替える。 ・長寿命化できない構造の建物を建替える。
維持	<ul style="list-style-type: none"> ■ハード・ソフト評価のいずれも低いこと ■改修しながら利用することが想定し難いもの 	「改築」として試算	試算の対象としない	・改築及び大規模改修、長寿命化改修を行わず修繕のみで継続使用する。
廃止	<ul style="list-style-type: none"> ■ハード・ソフト評価のいずれも低いこと ■改修しながら利用することが想定し難いもの ■他の施設と統合し、取りこまれるもの 	試算の対象としない	試算の対象としない	・修繕を行わず利用を止め、解体を検討する。
除却	<ul style="list-style-type: none"> ■解体するもの 	試算の対象としない	試算の対象としない	・利用を止めており解体の予定がある。

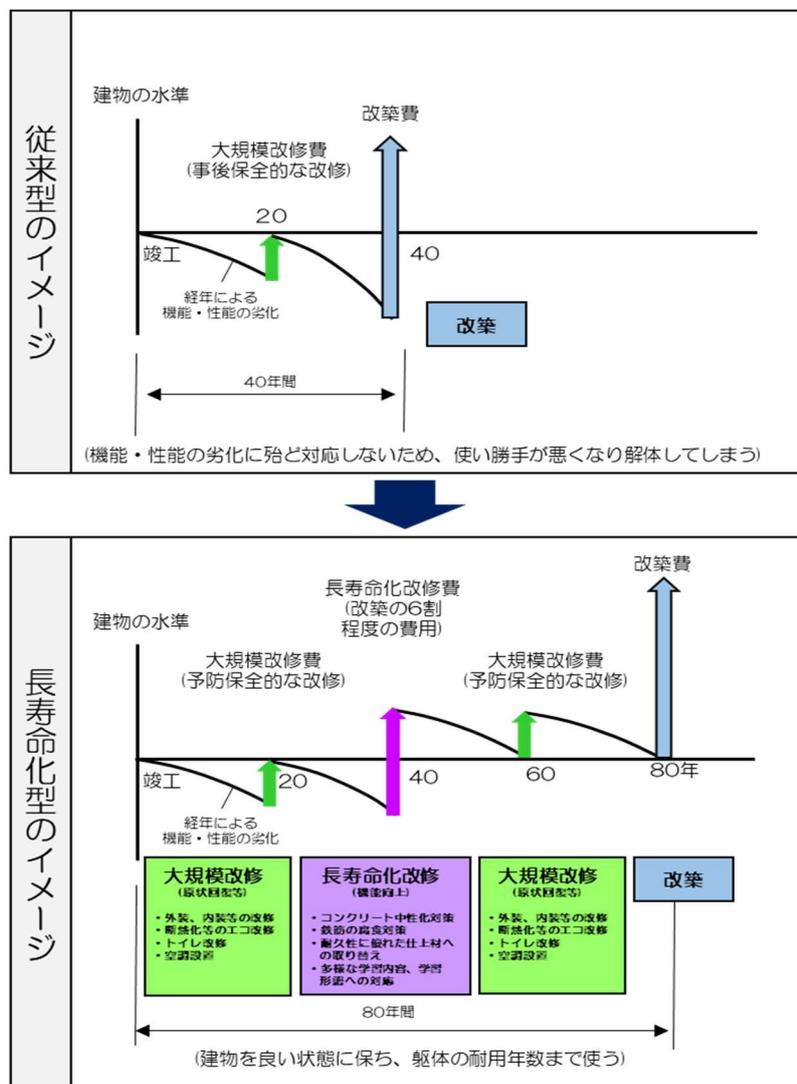
(3) 更新費用の試算方式について（従来型と長寿命化型）

①本計画内で採用する更新費用の試算方式について

中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストを縮減し、予算を平準化していくためには、公共施設の長寿命化を図り、大規模な修繕や更新を計画的に行うことが重要です。このため、本計画では、事後的な修繕や建替えを実施する「従来型」ではなく、施設特性を考慮の上、安全性や経済性を踏まえつつ、損傷が軽微な早期段階に予防的な修繕等を計画的に実施することで機能の保持・回復を図る「長寿命化型」での試算を採用します。

ただし、長寿命化型の施設管理を実施した場合の効果の分析において従来型との比較を行うため、以下に従来型と長寿命化型のイメージと②③で各々の試算条件を示します。

◆従来型と長寿命化型のイメージ◆



(資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書P.39より引用し一部改変)

②従来型でのコスト試算

従来型での更新費用の試算は、予防保全を行わず、耐用年数が到来した際に建物を「改築」（建替えのこと）、更新周期の途中で「大規模改修」を実施することを前提とします。

更新費用の試算にあたっては、統一的な基準による固定資産台帳を活用し、固定資産台帳上の延床面積に公共施設等総合管理計画で示された施設類型毎の更新単価を乗じて計算しています。

従来型での更新費用の算定条件は次のとおりです。

◆「従来型」のコスト算定条件◆

項目		条件
工事種別	改築	<ul style="list-style-type: none"> ■更新費用：公共施設等総合管理計画の更新単価 × 総延床面積 ■更新周期：40年 ■更新費用を2年間に均等配分する。 実施年数より古い建物は、今後10年以内にそれらを実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。
	大規模改修	<ul style="list-style-type: none"> ■更新費用：改築での更新費用×25% ■更新周期：20年
	部位修繕	<ul style="list-style-type: none"> ■C評価の場合は今後10年以内に実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。 ■D評価の場合は今後5年以内に実施するものとし、更新費用を5年間均等配分する。 ■改築・大規模改修を今後10年以内に実施する場合を除く。

※なお、表中のA評価、C評価、D評価は施設の劣化状況をA（良好）からD（劣化）の4段階で評価した場合のものです。

◆施設分類別の公共施設等総合管理計画の更新単価◆

施設分類	公共施設等総合管理計画の更新単価
村民文化系施設	400千円/m ²
社会教育系施設	400千円/m ²
スポーツ・レクリエーション系施設	360千円/m ²
産業系施設	400千円/m ²
学校教育系施設	330千円/m ²
子育て支援系施設	330千円/m ²
保健・福祉施設	360千円/m ²
医療施設	400千円/m ²
行政施設	400千円/m ²
公園	330千円/m ²
その他	360千円/m ²

③長寿命化型でのコスト試算

長寿命化型のコスト試算においては、改築の場合の更新費用は従来型と同条件とし、長寿命化改修の場合は改築での更新費用の60%としています。

また、施設の更新周期について、一般的には適切な維持管理がなされ、施設を良好な状態で保持している限りにおいては、「法定耐用年数より長い物理的な耐用年数を確保でき、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70年～80年程度使用可能である」とされています。今回の更新費用の試算にあたっては、従来型の改築の更新周期を40年とし、一方、長寿命化型の改築の更新周期を80年(長寿命化改修工事は半分である40年)としています。

◆「長寿命化型」のコスト算定条件◆

項目		条件
工事種別	改築	<ul style="list-style-type: none"> ■更新費用：公共施設等総合管理計画の更新単価 × 延床面積 ■更新周期：80年（方向性が長寿命化の場合） 50年（方向性が改築の場合） ■更新費用を2年間に均等配分する。 実施年数より古い建物は、今後10年以内にそれらを実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。
	長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> ■更新費用：改築での更新費用×60% ■更新周期：40年 ■更新費用を2年間に均等配分する。 実施年数より古い建物は、今後10年以内にそれらを実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。 ■A評価の場合は10年以内の長寿命化改修費用から部位修繕相当額を差し引く。
	大規模改修	<ul style="list-style-type: none"> ■更新費用：改築での更新費用×25% ■更新周期：20年
	部位修繕	<ul style="list-style-type: none"> ■C評価の場合は今後10年以内に実施するものとし、更新費用を10年間均等配分する。 ■D評価の場合は今後5年以内に実施するものとし、更新費用を5年間均等配分する。 ■改築・長寿命化改修・大規模改修を今後10年以内に実施する場合を除く。

※なお、表中のA評価、C評価、D評価は施設の劣化状況をA（良好）からD（劣化）の4段階で評価した場合のものです。

IV施設類型別の基本方針

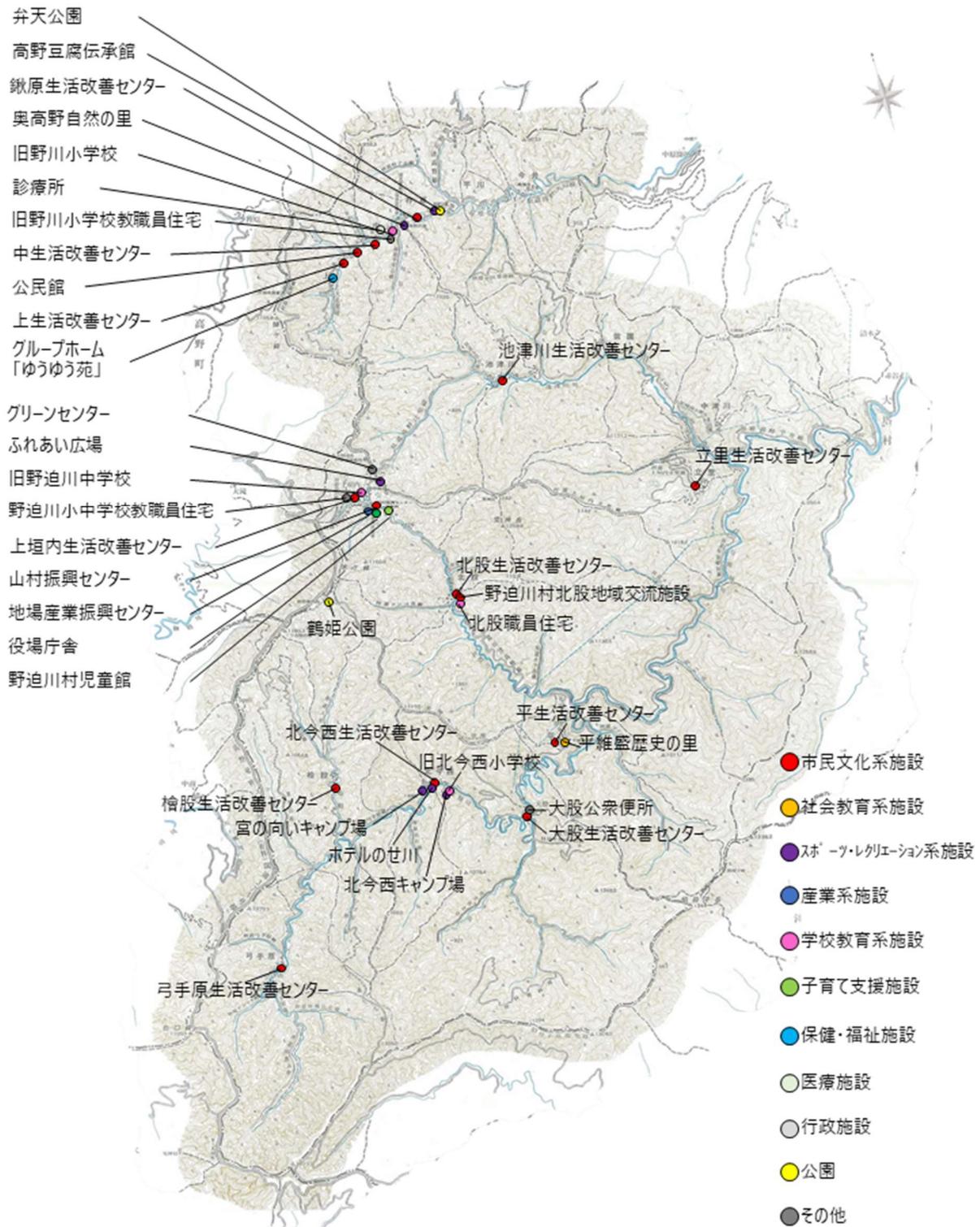
1. 対象施設の一覧

本計画の対象とする公共施設は、次の67施設とします。延床面積は2021（令和3）年3月現在の数値となっています。

施設分類名	番号	施設名 / 建物名	延床面積 (㎡)	取得 年度
村民文化系施設	1	柞原生活改善センター / 集会所	110.0	1979
	2	中生活改善センター / 集会所	96.0	1986
	3	上生活改善センター / 集会所	98.0	1984
	4	池津川生活改善センター / 集会所	102.0	1982
	5	立里生活改善センター / 集会所	92.0	1983
	6	上垣内生活改善センター / 集会所	97.0	1986
	7	北股生活改善センター / 集会所	110.0	1981
	8	平生活改善センター / 集会所	82.0	1980
	9	大股生活改善センター / 集会所	87.0	1978
	10	北今西生活改善センター / 集会所	89.0	1982
	11	檜股生活改善センター / 集会所	97.0	1978
	12	弓手原生活改善センター / 集会所	97.0	1979
	13	公民館 / 公民館	1,235.8	1991
	14	山村振興センター / 集会所	656	1973
	15	野迫川村北股地域交流施設	549.8	1960
社会教育系施設	16	平維盛歴史の里 / 事務所	87.0	1989
	17	平維盛歴史の里 / 笛の茶屋	110.0	1989
	18	平維盛歴史の里 / 資料館	87.0	1989
	19	平維盛歴史の里 / 休憩所	63.0	1989
	20	平維盛歴史の里 / 維盛庵	130.0	1989
	21	平維盛歴史の里 / 便所	3.0	1989
	22	平維盛歴史の里 / 公衆便所	22.0	1989
スポーツ・レクリエーション系施設	23	ホテルのせ川 / ホテルのせ川	1,443.0	1982
	24	ホテルのせ川 / ふるさと山の交流館	2,253.0	1995
	25	奥高野自然の里 / 奥高野自然の里	689.0	1925
	26	宮の向いキャンプ場 / 管理棟	53.0	1996
	27	宮の向いキャンプ場 / バンガロー しらかば	35.0	1996
	28	宮の向いキャンプ場 / バンガロー かえで	35.0	1996
	29	宮の向いキャンプ場 / バンガロー ぶな	35.0	1996
	30	宮の向いキャンプ場 / バンガロー けやき	35.0	1996
	31	高野豆腐伝承館 / 伝承館	139.0	2005
	32	北今西キャンプ場 / バンガロー 1	35.0	2006
	33	北今西キャンプ場 / バンガロー 2	35.0	2006
	34	北今西キャンプ場 / バンガロー 3	35.0	2006
	35	北今西キャンプ場 / バンガロー 4	35.0	2006

スポーツ・レクリエーション系施設	36	北今西キャンプ場 / 便所	16.0	2006
	37	北今西キャンプ場 / 炊事場	14.0	2006
	38	ふれあい広場 / 屋内ゲートボール場	480.0	1994
産業系施設	39	地場産業振興センター	518.0	1997
学校教育系施設	40	旧野川小学校 / 校舎	718.4	1977
	41	旧野川小学校 / 屋内運動場	786.0	1993
	42	旧野迫川中学校 / 校舎	1,136.0	1973
	43	旧野迫川中学校 / 屋内運動場	405.0	1974
	44	旧野迫川中学校 / 給食室	178.0	1984
	45	旧北今西小学校 / 校舎	553.0	1983
子育て支援施設	46	野迫川村児童館	190.0	1977
保健・福祉施設	47	グループホーム「ゆうゆう苑」	828.5	1996
医療施設	48	診療所 / 診療所	194.0	1972
	49	診療所 / 医師住宅	86.0	2011
	50	診療所 / 車庫	64.0	1994
行政系施設	51	役場庁舎 / 本庁舎	981.0	1963
	52	役場庁舎 / 車庫 (大)	128.0	1994
	53	役場庁舎 / 車庫 (小)	35.0	2002
公園	54	鶴姫公園 / 総合案内所	290.0	1993
	55	鶴姫公園 / 機械室	14.0	1999
	56	鶴姫公園 / 展示棟	178.0	1999
	57	鶴姫公園 / 展望塔	357.0	1999
	58	弁天公園 / 公衆便所	22.0	1996
その他	59	北股職員住宅 / 職員住宅	128.0	2015
	60	グリーンセンター / 食堂	53.0	1965
	61	グリーンセンター / 便所	31.0	2002
	62	大股公衆便所 / 公衆便所	9.0	2002
	63	旧野川小学校教職員住宅 / 教職員住宅	243.0	1988
	64	野迫川小中学校教職員住宅 / 住宅 1号棟	50.0	1990
	65	野迫川小中学校教職員住宅 / 住宅 2号棟	80.0	1990
	66	野迫川小中学校教職員住宅 / 職員住宅 1号棟	109.0	1986
	67	野迫川小中学校教職員住宅 / 職員住宅 2号棟	230.0	2012

《公共施設配置状況》



2. 個別施設の状況

各公共施設の方針に記載している項目の見方は以下のとおりです。

(1) 施設別状況

各施設の構造や劣化状況を一覧で示しています。

■ 構造

R C	鉄筋コンクリート造
S	鉄骨造
W	木造

■ 躯体性能・劣化度状況

A	おおむね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）

(2) 主要施設の役割

主要な施設の機能や役割について記載しています。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

取得価額を改築（建替え）費用とし、改築費用の60%を長寿命化改修費用としています。

■ 試算例

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築(建替え) 費用 (千円)	長寿命化改修 費用 (千円)
28	グループホーム「ゆうゆう苑」	422,917	298,260	178,956

(4) 施策の具体的な方向性・対策

各施設の方向性（改築・長寿命化・維持・廃止など）及び更新費用を記載しています。減価償却率は、2019（令和元）年度末時点の公会計の固定資産台帳に記載されている減価償却累計額を用いて算出しています。また、取得年度により、更新時期を記載しています。

◆各施設の方針の見方◆

方 向 性：評価を踏まえて決定した内容を記載
 取 得 価 額：対策コスト算出のベース
 (固定資産台帳より転記)
 減価償却率：老朽化度合の目安の一つとして記載
 (固定資産台帳より転記)

施設ごとに、他の同一施設タイプの施設や近隣の施設との関係性や、特記事項を記載しています。
 相対的な評価を行う際の参考としています。

28.グループホーム「ゆうゆう苑」

方 向 性	長寿命化	認知症・要介護認定を受けた方が利用するグループホームです。近隣に同様の機能を備えた施設がないため、地域では重要な施設です。将来的にはバリアフリー化のために、大規模な設備改修工事も検討されています。								
取 得 価 額	422,917千円									
減価償却率	46.00%									
年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度	2025 (令和7)年度	2026 (令和8)年度	2027 (令和9)年度	2028 (令和10)年度	2029 (令和11)年度	2030 (令和12)年度	2031 (令和13)年度
工程										
対策コスト(千円)										

「長寿命化型」のコスト試算条件を基に算出した直近10年間の工事種別と対策コストを記載しています。

3. 村民文化系施設の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
1	柞原生活改善センター / 集会所	W	1979	22	C	C	C	C	C
2	中生活改善センター / 集会所	W	1986	22	C	C	C	C	B
3	上生活改善センター / 集会所	W	1984	22	C	C	C	C	B
4	池津川生活改善センター / 集会所	W	1982	22	C	C	C	C	B
5	立里生活改善センター / 集会所	W	1983	22	C	C	C	C	B
6	上垣内生活改善センター / 集会所	W	1986	22	C	C	C	C	B
7	北股生活改善センター / 集会所	W	1981	22	C	C	C	C	C
8	平生活改善センター / 集会所	W	1980	22	C	C	C	C	C
9	大股生活改善センター / 集会所	W	1978	22	C	C	C	C	C
10	北今西生活改善センター / 集会所	W	1982	22	C	C	C	C	B
11	檜股生活改善センター / 集会所	W	1978	22	C	C	C	C	C
12	弓手原生活改善センター / 集会所	W	1979	22	C	C	C	C	C
13	公民館 / 公民館	RC	1991	50	B	B	B	C	B
14	山村振興センター / 集会所	RC	1973	47	C	C	C	C	C
15	野迫川村北股地域交流施設	W	1960	47	A	A	A	A	A

(2) 主要施設の役割

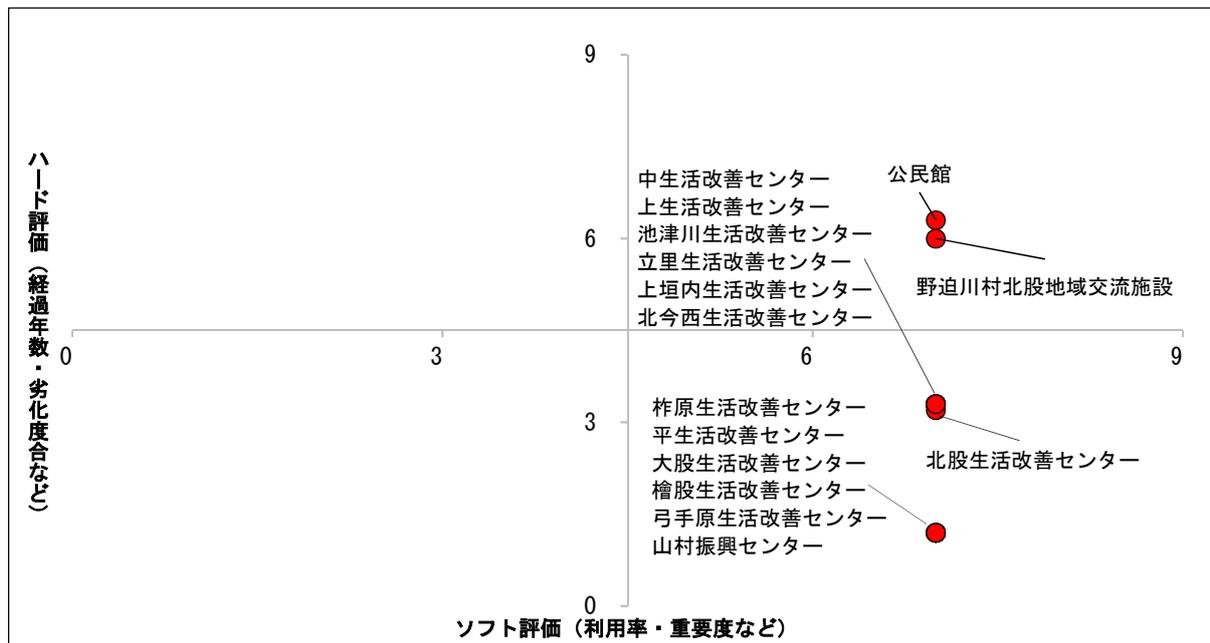
■山村振興センター

公演イベントや成人式といった催し事が行われるなど、文化的施設の一面を持った本村の重要な施設です。設立から50年近く経過しており、本村内でも特に村民に馴染みのある施設の1つになっています。また、災害が発生した場合の1次・2次避難所にも指定されています。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築(建替え) 費用(千円)	長寿命化改修 費用(千円)
1	柞原生活改善センター / 集会所	19,030	44,000	26,400
2	中生活改善センター / 集会所	16,608	38,400	23,040
3	上生活改善センター / 集会所	16,954	39,200	23,520
4	池津川生活改善センター / 集会所	17,646	40,800	24,480
5	立里生活改善センター / 集会所	15,916	36,800	22,080
6	上垣内生活改善センター / 集会所	16,781	38,800	23,280
7	北股生活改善センター / 集会所	19,030	44,000	26,400
8	平生活改善センター / 集会所	14,186	32,800	19,680
9	大股生活改善センター / 集会所	15,051	34,800	20,880
10	北今西生活改善センター / 集会所	15,397	35,600	21,360
11	檜股生活改善センター / 集会所	16,781	38,800	23,280
12	弓手原生活改善センター / 集会所	16,781	38,800	23,280
13	公民館 / 公民館	423,980	494,320	296,592
14	山村振興センター / 集会所	187,806	262,400	157,440
15	野迫川村北股地域交流施設	不明	219,920	131,952

(4) 施設の具体的な方向性・対策



1. 柞原生活改善センター

方 向 性	維持	柞原地区の集会施設です。災害時の一次避難施設に指定されています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	19,030千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

2. 中生活改善センター

方 向 性	維持	中地区の集会施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	16,608千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

3. 上生活改善センター

方 向 性	維持	上地区の集会施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	16,954千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

4. 池津川生活改善センター

方 向 性	維持	池津川地区の集会施設です。災害時の1次避難施設に指定されています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	17,646千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

5. 立里生活改善センター

方 向 性	維持	立里地区の集会施設です。災害時の1次避難施設に指定されています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	15,916千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

6. 上垣内生活改善センター

方 向 性	維持	上垣内地区の集会施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	16,781千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

7. 北股生活改善センター

方 向 性	維持	北股地区の集会施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	19,030千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

8. 平生活改善センター

方 向 性	維持	平地区の集会施設です。災害時の1次避難施設に指定されています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	14,186千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

9. 大股生活改善センター

方 向 性	維持	大股地区の集会施設です。災害時の1次避難施設に指定されています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	15,051千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

10. 北今西生活改善センター

方 向 性	維持	北今西地区の集会施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	15,397千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

11. 檜股生活改善センター

方 向 性	維持	檜股地区の集会施設です。災害時の1次避難施設に指定されています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	16,781千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

12. 弓手原生活改善センター

方 向 性	維持	弓手原地区の集会施設です。災害時の1次避難施設に指定されています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	16,781千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

13. 公民館

方向性	長寿命化	年に2回のイベントと健康診断の会場として利用されています。300人が収容できるホールもあり、本村の重要な施設です。
取得価額	429,980千円	
減価償却率	56.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										長寿命化改修
対策コスト(千円)										148,296

14. 山村振興センター

方向性	維持	成人式、出初め式、選挙、健康診断、地区の会議などで使われている施設です。周辺施設の中では比較的安全性が高いため、災害時の二次避難場所にも指定されています。水道管凍結防止の整備のみ定期的に行っています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取得価額	187,806千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

15. 野迫川村北股地域交流施設

方向性	長寿命化	災害対策の啓発活動の一環で、パネル展示がされています。町内会や婦人会の集会や村主催の健康体操などの住民に向けたイベントが実施され、その他、バーベキュー場として、村外の利用者も想定しています。2019年には改修が実施されています。
取得価額	不明	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修						
対策コスト(千円)	8,379	8,379	8,379	8,379	8,379	8,379	8,379	8,379	8,379	8,379

※劣化状況にA評価があるため、長寿命化改修費用から部位修繕相当額を差し引いて対策コストを算出しています。

4. 社会教育系施設の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
16	平維盛歴史の里 / 事務所	W	1989	24	C	C	C	C	B
17	平維盛歴史の里 / 笛の茶屋	W	1989	20	C	C	C	C	B
18	平維盛歴史の里 / 資料館	W	1989	24	C	C	C	C	B
19	平維盛歴史の里 / 休憩所	W	1989	24	C	C	C	C	B
20	平維盛歴史の里 / 維盛庵	W	1989	24	C	C	C	C	B
21	平維盛歴史の里 / 便所	W	1989	15	C	C	C	C	B
22	平維盛歴史の里 / 公衆便所	W	1989	15	C	C	C	C	B

(2) 主要施設の役割

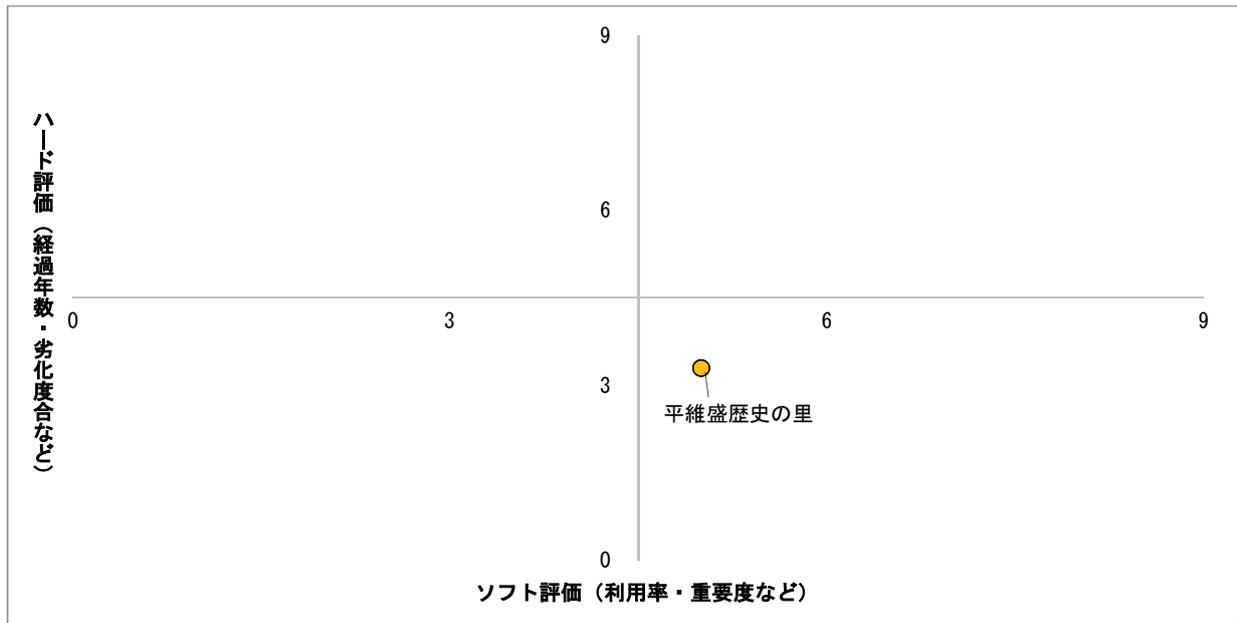
■平維盛歴史の里

本村の自然が生かされた敷地内には花風月の庭、つつじ園、散策の路、展望台などが整備されています。年中無休で、いつでも訪れることのできる施設です。利用者数は年間約 1600 人で、毎年 7 月最終土曜日に「平維盛の大祭」が開催されているなど、村外からも人を呼び込むことができる重要な施設です。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
16	平維盛歴史の里 / 事務所	17,313	34,800	20,880
17	平維盛歴史の里 / 笛の茶屋	25,300	44,000	26,400
18	平維盛歴史の里 / 資料館	19,140	34,800	20,880
19	平維盛歴史の里 / 休憩所	12,663	25,200	15,120
20	平維盛歴史の里 / 維盛庵	28,600	52,000	31,200
21	平維盛歴史の里 / 便所	1,104	1,200	720
22	平維盛歴史の里 / 公衆便所	8,096	8,800	5,280

(4) 施設の具体的な方向性・対策



16. 平維盛歴史の里 / 事務所

方 向 性	維持	現在の利用実態としては、対外的な大きなイベント（花火大会、踊りを披露するなど）を数回、当施設を使って実施しています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	17,313千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

17. 平維盛歴史の里 / 笛の茶屋

方 向 性	維持	軽食を販売している、平維盛歴史の里の利用者のための施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	25,300千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

18. 平維盛歴史の里 / 資料館

方 向 性	維持	平維盛伝説をジオラマ・レプリカ・映像などで再現しています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	19,140千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

19. 平維盛歴史の里 / 休憩所

方 向 性	維持	平維盛歴史の里の利用者のための施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	12,663千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

20. 平維盛歴史の里 / 維盛庵

方 向 性	維持	平維盛歴史の里にある施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	28,600千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

21. 平維盛歴史の里 / 便所

方 向 性	維持	平維盛歴史の里の利用者のための施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	1,104千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

22. 平維盛歴史の里 / 公衆便所

方 向 性	維持	平維盛歴史の里の利用者のための施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	8,096千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

5. スポーツ・レクリエーション系施設の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
23	ホテルのせ川 / ホテルのせ川	RC	1982	47	C	C	C	C	B
24	ホテルのせ川 / ふるさと山の交流館	RC	1995	47	B	B	B	C	B
25	奥高野自然の里 / 奥高野自然の里	W	1925	22	C	C	C	C	C
26	宮の向いキャンプ場 / 管理棟	W	1996	24	C	C	C	B	B
27	宮の向いキャンプ場 / バンガローしらかば	W	1996	22	C	C	C	B	B
28	宮の向いキャンプ場 / バンガローかえで	W	1996	22	C	C	C	B	B
29	宮の向いキャンプ場 / バンガローぶな	W	1996	22	C	C	C	B	B
30	宮の向いキャンプ場 / バンガローけやき	W	1996	22	C	C	C	B	B
31	高野豆腐伝承館 / 伝承館	S	2005	31	B	B	B	B	B
32	北今西キャンプ場 / バンガロー1	W	2006	22	B	B	B	B	B
33	北今西キャンプ場 / バンガロー2	W	2006	22	B	B	B	B	B
34	北今西キャンプ場 / バンガロー3	W	2006	22	B	B	B	B	B
35	北今西キャンプ場 / バンガロー4	W	2006	22	B	B	B	B	B
36	北今西キャンプ場 / 便所	W	2006	15	C	C	C	B	B
37	北今西キャンプ場 / 炊事場	W	2006	20	C	C	C	B	B
38	ふれあい広場 / 屋内ゲートボール場	RC	1994	34	C	C	C	B	B

(2) 主要施設の役割

■ホテルのせ川

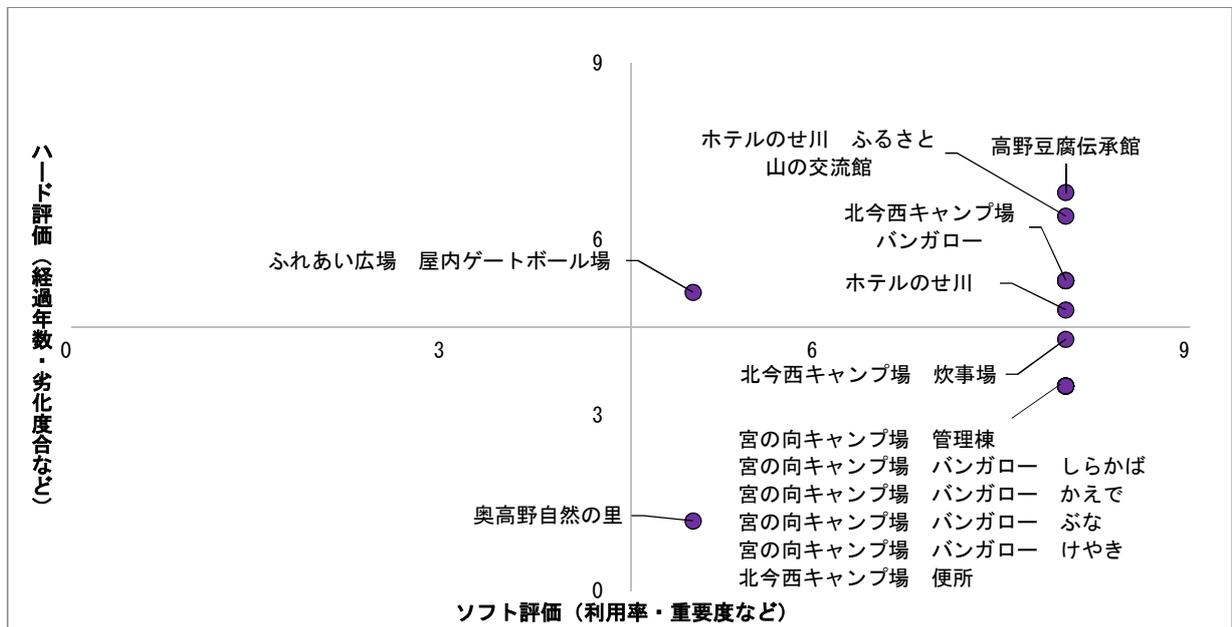
目の前に川原樋川と雄大な自然が広がる宿泊施設です。高野山観光・立里荒神社参拝や釣りなどのアクティビティ拠点として各地へのアクセスも良好で、宿泊利用だけでなく日帰り温泉や、地元食材を使用した食事の提供も行っています。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築(建替え) 費用(千円)	長寿命化改修 費用(千円)
23	ホテルのせ川 / ホテルのせ川	450,238	519,480	311,688
24	ホテルのせ川 / ふるさと山の交流館	698,430	811,080	486,648
25	奥高野自然の里 / 奥高野自然の里	137,111	248,040	148,824
26	宮の向いキャンプ場 / 管理棟	10,547	19,080	11,448
27	宮の向いキャンプ場 / バンガローしらかば	7,035	12,600	7,560
28	宮の向いキャンプ場 / バンガローかえで	7,035	12,600	7,560
29	宮の向いキャンプ場 / バンガローぶな	7,035	12,600	7,560

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
30	宮の向いキャンプ場 / バンガローけやき	7,035	12,600	7,560
31	高野豆腐伝承館 / 伝承館	32,665	50,040	30,024
32	北今西キャンプ場 / バンガロー1	7,035	12,600	7,560
33	北今西キャンプ場 / バンガロー2	7,035	12,600	7,560
34	北今西キャンプ場 / バンガロー3	7,035	12,600	7,560
35	北今西キャンプ場 / バンガロー4	7,035	12,600	7,560
36	北今西キャンプ場 / 便所	128	5,760	3,456
37	北今西キャンプ場 / 炊事場	5,760	5,040	3,024
38	ふれあい広場 / 屋内ゲートボール場	40,345	172,800	103,680

(4) 施設の具体的な方向性・対策



23. ホテルのせ川 / ホテルのせ川

方向性	長寿命化	村の様々な場所にアクセス良好な宿泊施設であり、観光やアクティビティで来村する宿泊者に対しての村の目玉観光施設です。のせ川びれっぢが指定管理者として運営しています。
取得価額	450,238千円	
減価償却率	80.93%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	長寿命化改修	長寿命化改修								
対策コスト(千円)	155,844	155,844								

24. ホテルのせ川 / ふるさと山の交流館

方向性	長寿命化	ホテルのせ川が管理している、村外の方との交流施設です。日帰り温泉の利用や食堂、土産物売り場がある施設です。
取得価額	698,430千円	
減価償却率	52.80%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕						
対策コスト(千円)	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244	3,244

25. 奥高野自然の里

方向性	維持	旧野迫川中学校を改築してできた、木造2階建ての宿泊施設です。グラウンド、屋内運動場もあり、120名までの団体に対応できるなど、合宿や研修会、セミナーなどに利用できます。現状は閉鎖状態ですが、2023年度に学生の合宿施設として利用再開予定です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取得価額	137,111千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

26. 宮の向いキャンプ場 / 管理棟

方向性	改築	高台のロケーションで、眺望の良いキャンプ場です。繁忙期である夏には施設が埋まるほど需要がある施設です。ホテルのせ川が管理しています。のせ川びれっぢが指定管理者として運営しています。長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取得価額	10,547千円	
減価償却率	96.60%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕						
対策コスト(千円)	271	271	271	271	271	271	271	271	271	271

27. 宮の向いキャンプ場 / バンガローしらかば

方 向 性	改築	長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取 得 価 額	7,035千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕						
対策コスト(千円)	179	179	179	179	179	179	179	179	179	179

28. 宮の向いキャンプ場 / バンガローかえで

方 向 性	改築	長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取 得 価 額	7,035千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕						
対策コスト(千円)	179	179	179	179	179	179	179	179	179	179

29. 宮の向いキャンプ場 / バンガローぶな

方 向 性	改築	長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取 得 価 額	7,035千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕						
対策コスト(千円)	179	179	179	179	179	179	179	179	179	179

30. 宮の向いキャンプ場 / バンガローけやき

方 向 性	改築	長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取 得 価 額	7,035千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕						
対策コスト(千円)	179	179	179	179	179	179	179	179	179	179

31. 高野豆腐伝承館 / 伝承館

方向性	長寿命化	高野豆腐の製造と販売を行っている施設です。
取得価額	32,665千円	
減価償却率	46.20%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程				大規模改造						
対策コスト(千円)				12,510						

32. 北今西キャンプ場 / バンガロー 1

方向性	改築	前面に川原樋川、背後に山林があるプライベート感たっぷりのキャンプ場です。宮の向いキャンプ場と同様に、のせ川びれっちが指定管理者として運営しています。長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取得価額	7,035千円	
減価償却率	59.80%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程					大規模改造					
対策コスト(千円)					3,150					

33. 北今西キャンプ場 / バンガロー 2

方向性	改築	長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取得価額	7,035千円	
減価償却率	59.80%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程					大規模改造					
対策コスト(千円)					3,150					

34. 北今西キャンプ場 / バンガロー 3

方向性	改築	長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取得価額	7,035千円	
減価償却率	59.80%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程					大規模改造					
対策コスト(千円)					3,150					

35. 北今西キャンプ場 / バンガロー4

方 向 性	改築	長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取 得 価 額	7,035千円	
減価償却率	59.80%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程					大規模改造					
対策コスト(千円)					3,150					

36. 北今西キャンプ場 / 便所

方 向 性	改築	宮の向いキャンプ場と北今西キャンプ場の利用者のための施設です。長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取 得 価 額	128千円	
減価償却率	87.10%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程					大規模改造					
対策コスト(千円)					1,440					

37. 北今西キャンプ場 / 炊事場

方 向 性	改築	長寿命化は行わず、計画的に建て替えを行います。
取 得 価 額	5,760千円	
減価償却率	65.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程					大規模改造					
対策コスト(千円)					1,260					

38. ふれあい広場 / 屋内ゲートボール場

方 向 性	維持	地域住民により年間5~6回ほど利用されています。
取 得 価 額	40,345千円	
減価償却率	75.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

6. 産業系施設の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
39	地場産業振興センター	S	1997	34	C	C	C	B	B

(2) 主要施設の役割

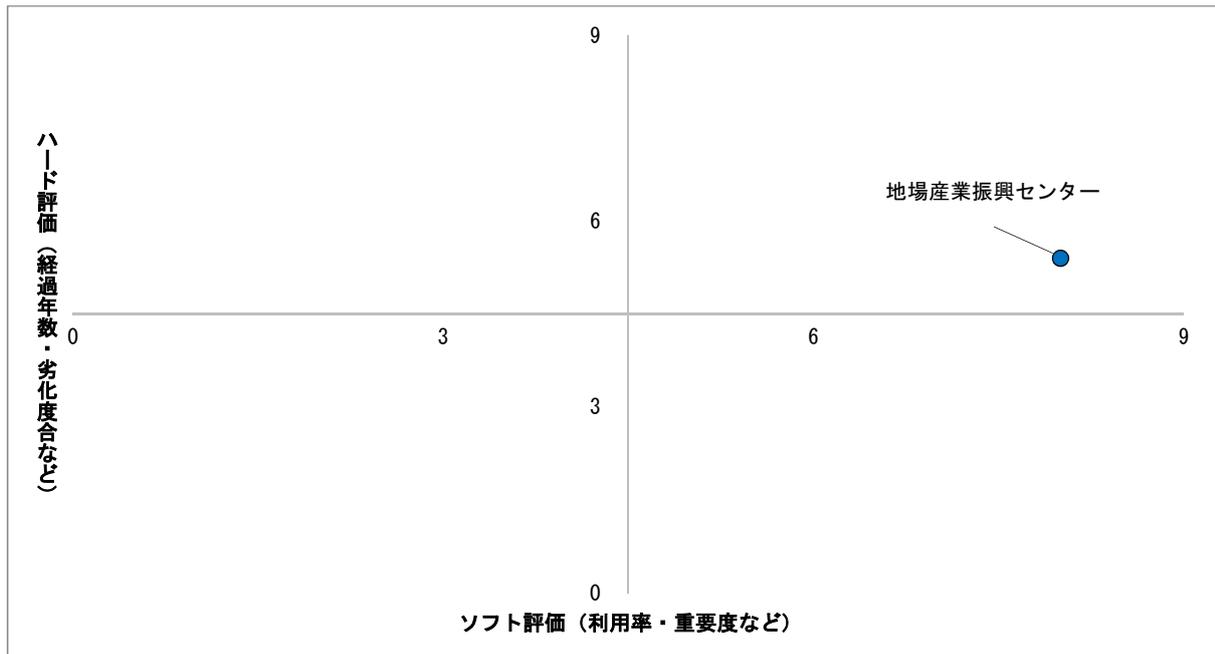
■地場産業振興センター

役場庁舎の隣にある施設です。産業課・建設課の執務室があるほか、宿直室や書庫として利用されています。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
39	地場産業振興センター	104,118	207,200	124,320

(4) 施設の具体的な方向性・対策



39. 地場産業振興センター

方向性	長寿命化	役場庁舎の隣にある施設で、2020年11月からは産業課・建設課の執務室があり、1階は宿直室や車庫等、3階は書庫として利用されています。
取得価額	104,118千円	
減価償却率	66.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕						
対策コスト(千円)	2,942	2,942	2,942	2,942	2,942	2,942	2,942	2,942	2,942	2,942

7. 学校教育系施設の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
40	旧野川小学校 / 校舎	RC	1977	47	C	C	C	C	C
41	旧野川小学校 / 屋内運動場	S	1993	34	C	C	C	B	B
42	旧野迫川中学校 / 校舎	RC	1973	47	C	C	C	C	C
43	旧野迫川中学校 / 屋内運動場	S	1974	34	C	C	C	C	C
44	旧野迫川中学校 / 給食室	S	1984	31	C	C	C	C	B
45	旧北今西小学校 / 校舎	RC	2018	47	C	C	C	C	B

(2) 主要施設の役割

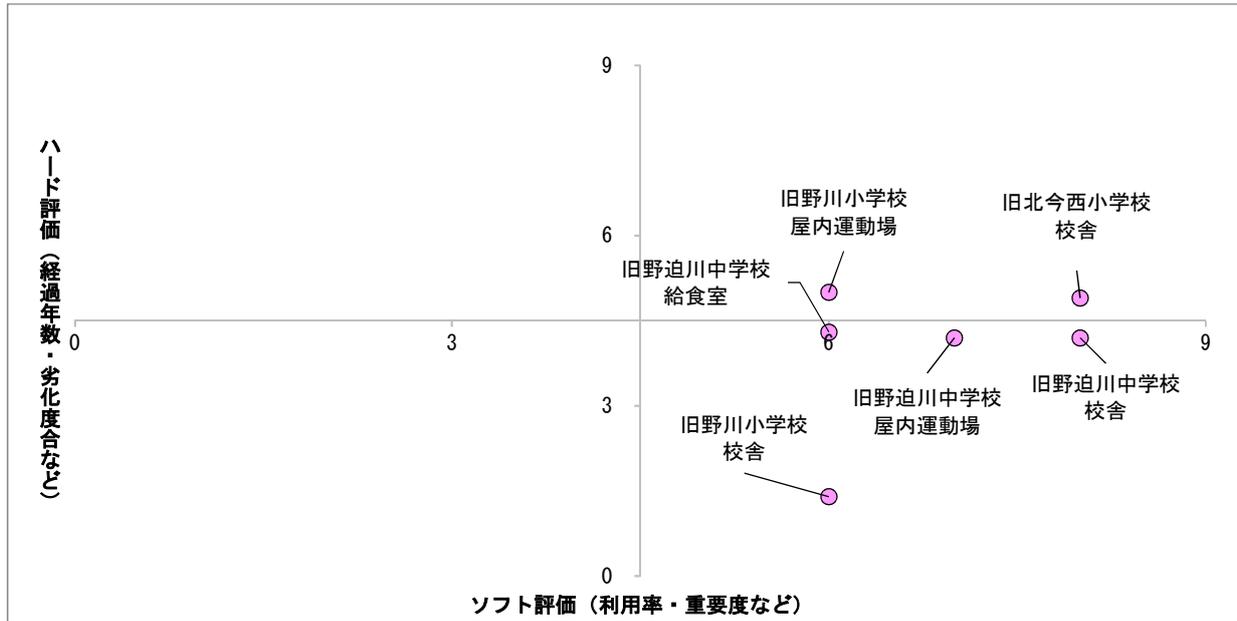
■旧小・中学校

平成27年度に「野川小学校」、「野迫川中学校」、「北今西小学校」が統合し、「野迫川村一貫校」となりました。現在では、「旧野迫川中学校」の建物を社会福祉協議会が活用するなど、建物の用途変更を行い、有効活用を図っています。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
40	旧野川小学校 / 校舎	177,612	237,072	142,243
41	旧野川小学校 / 屋内運動場	159,558	259,380	155,628
42	旧野迫川中学校 / 校舎	259,008	374,880	224,928
43	旧野迫川中学校 / 屋内運動場	82,215	133,650	80,190
44	旧野迫川中学校 / 給食室	35,600	58,740	35,244
45	旧北今西小学校 / 校舎	53,277	182,490	109,494

(4) 施設の具体的な方向性・対策



40. 旧野川小学校 / 校舎

方向性	維持	避難所としての利用を想定していますが、利用実績はほぼありません。
取得価額	177,612千円	
減価償却率	92.40%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

41. 旧野川小学校 / 屋内運動場

方向性	維持	バレーボールコート・バスケットボールコートがそれぞれ一面ずつあります。有料ではありますが、村外の方も利用可能な施設となっています。
取得価額	159,558千円	
減価償却率	78.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

42. 旧野迫川中学校 / 校舎

方向性	長寿命化	現在は社会福祉協議会によって利用されています。空き教室の有効活用を検討しています。
取得価額	259,008千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修						
対策コスト(千円)	22,493	22,493	22,493	22,493	22,493	22,493	22,493	22,493	22,493	22,493

43. 旧野迫川中学校 / 屋内運動場

方向性	長寿命化	現在は村民への貸し出しが実施されています。施設の方向性について協議を進めます。
取得価額	82,215千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修	長寿命化改修						
対策コスト(千円)	8,019	8,019	8,019	8,019	8,019	8,019	8,019	8,019	8,019	8,019

44. 旧野迫川中学校 / 給食室

方向性	維持	漏水は2018年、雨漏りは2019年に修繕を実施済みです。ここ数年利用されておらず、他用途の可能性を検証中です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取得価額	35,600千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

45. 旧北今西小学校 / 校舎

方向性	長寿命化	1983年に学校施設として設立された本施設ですが、本村での暮らしを体験していただくための施設として活用するため、2018年に改修工事が行われました。旧北今西小学校を活用した施設で、野迫川村への移住・定住を促進する施設として「ぶなの森」の愛称で親しまれています。
取得価額	53,277千円	
減価償却率	2.20%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程		長寿命化改修	長寿命化改修							
対策コスト(千円)		54.747	54.747							

8. 子育て支援施設の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
46	野迫川村児童館	RC	1977	50	C	C	C	C	C

(2) 主要施設の役割

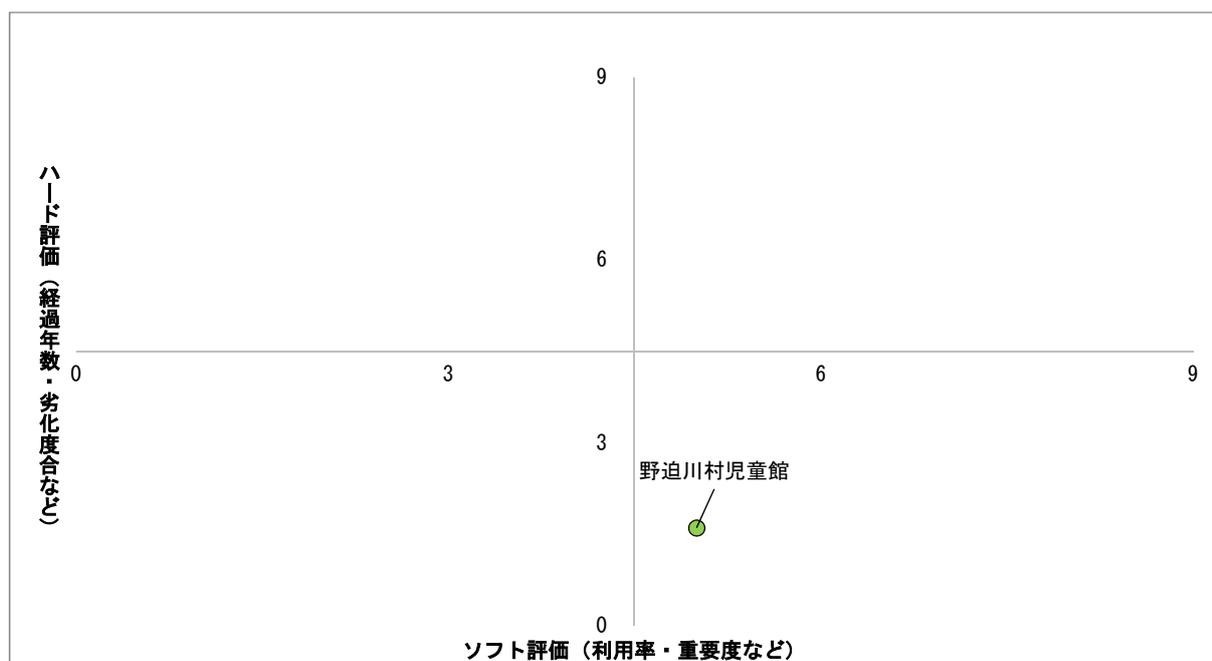
■野迫川村児童館

児童館としての利用はされておらず、巡回の美容師によって月に1～2回使用されています。築50年程度が経過しており、老朽化が進んでいます。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修費用 (千円)
46	野迫川村児童館	44,650	62,700	37,620

(4) 施設の具体的な方向性・対策



46. 野迫川村児童館

方向性	維持	現在は月1~2回美容師の方が美容院として利用しています。将来的には、災害倉庫として利用する予定があります。								
取得価額	44,650千円									
減価償却率	84.00%									
年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

9. 保健・福祉施設の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
47	グループホーム「ゆうゆう苑」	RC	1996	50	B	B	B	B	B

(2) 主要施設の役割

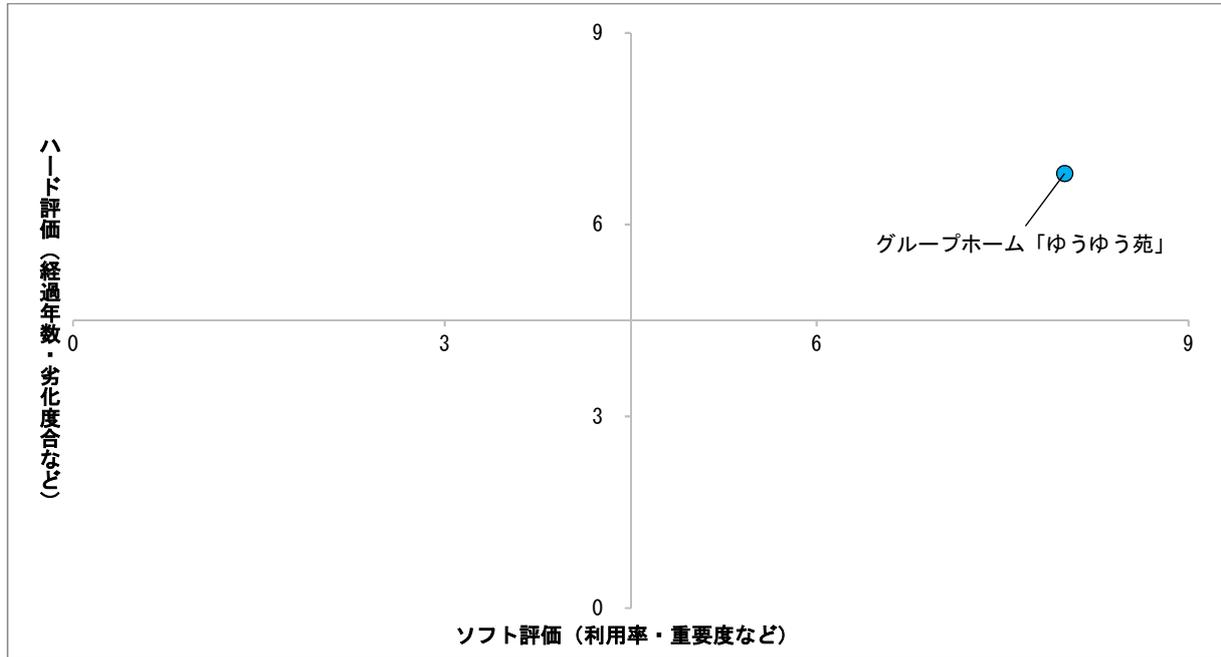
■グループホーム「ゆうゆう苑」

「①本村の住民票があること」、「②認知症と診断をされていること」、「③要支援2以上であること」が入居条件のグループホームです。グループホームでは、認知症の方々が共同で生活しており、アットホームな雰囲気での交流を楽しめるのが魅力の施設です。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
47	グループホーム「ゆうゆう苑」	422,917	298,260	178,956

(4) 施設の具体的な方向性・対策



47. グループホーム「ゆうゆう苑」

方向性	長寿命化	認知症・要介護認定を受けた方が利用するグループホームです。近隣に同様の機能を備えた施設がないため、地域では重要な施設です。将来的にはバリアフリー化のために、大規模な設備改修工事も検討されています。
取得価額	422,917千円	
減価償却率	46.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

10. 医療施設の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
48	診療所 / 診療所	RC	1972	50	C	C	C	C	C
49	診療所 / 医師住宅	W	2011	22	B	B	B	B	B
50	診療所 / 車庫	S	1994	31	C	C	C	B	B

(2) 主要施設の役割

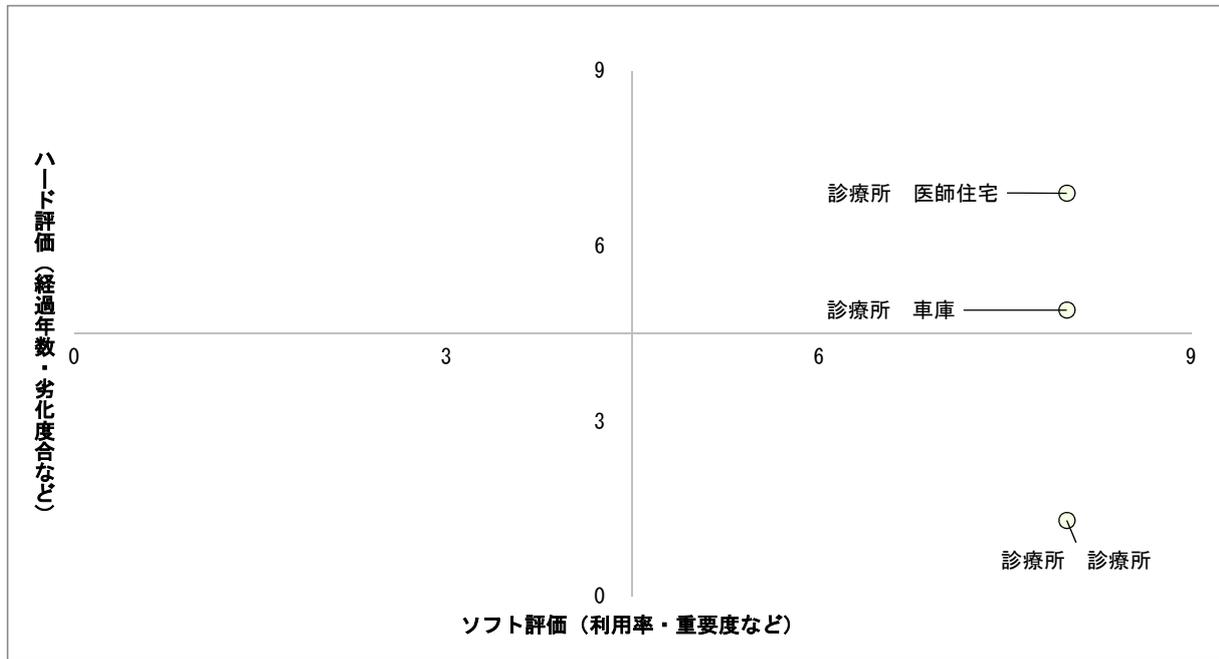
■野迫川村国民健康保険診療所

医師1名と看護師2名が常駐しています。少子高齢化が急速に進む本村において、村民生活に密着した医療拠点として、今後とも診療所の果たす役割は大きく、さらなる拡充が求められています。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
48	診療所 / 診療所	52,574	77,600	46,560
49	診療所 / 医師住宅	14,104	34,400	20,640
50	診療所 / 車庫	7,808	25,600	15,360

(4) 施設の具体的な方向性・対策



48. 診療所 / 診療所

方向性	改築	野迫川村唯一の診療機関として重要性の高い施設です。老朽化が進んでいるため、将来的には、改築及び移転を検討しています。
取得価額	52,574千円	
減価償却率	94.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	改築	改築								
対策コスト(千円)	38,800	38,800								

49. 診療所 / 医師住宅

方向性	維持	診療所の敷地内にある施設です。村外から医師が通勤するケースも多々あるため、方向性が決まるまでは大規模な工事を行わない「維持」としています。
取得価額	14,104千円	
減価償却率	36.80%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

50. 診療所 / 車庫

方向性	維持	医師住宅入居者が使用する車庫です。工事等は医師住宅と併せて行うため、同じく「維持」としています。
取得価額	7,808千円	
減価償却率	82.50%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

1 1. 行政系施設の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
51	役場庁舎 / 本庁舎	RC	1963	50	C	C	C	C	C
52	役場庁舎 / 車庫 (大)	RC	1994	38	C	C	C	B	B
53	役場庁舎 / 車庫 (小)	RC	2002	38	B	B	B	B	B

(2) 主要施設の役割

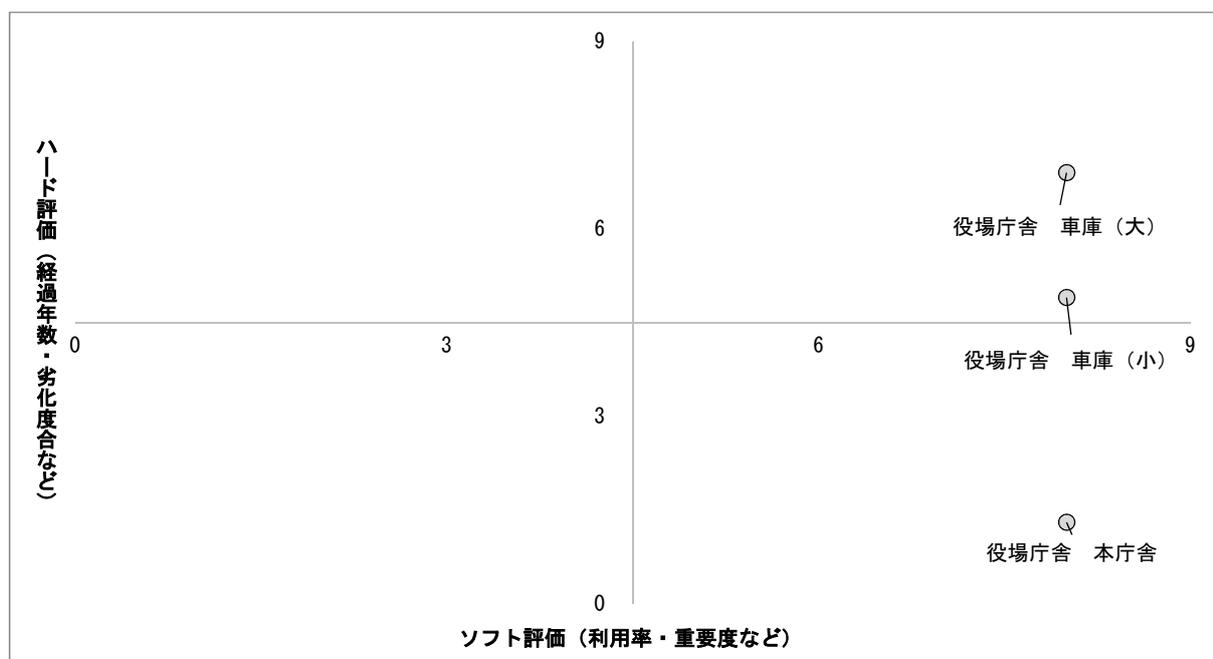
■ 役場庁舎

村の行政の中心であり、災害発生時には防災の拠点となる重要施設です。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築 (建替え) 費用 (千円)	長寿命化改修費用 (千円)
51	役場庁舎 / 本庁舎	304,806	392,400	235,440
52	役場庁舎 / 車庫 (大)	20,480	51,200	30,720
53	役場庁舎 / 車庫 (小)	5,600	14,000	8,400

(4) 施設の具体的な方向性・対策



51. 役場庁舎 / 本庁舎

方 向 性	改築	村の行政の中心であり、災害発生時には防災の拠点となる重要施設です。築50年以上経つ建物であるため、安全確保のため、方向性を「改築」としています。
取 得 価 額	304,806千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	改築	改築	改築	改築						
対策コスト(千円)	39,240	39,240	39,240	39,240	39,240	39,240	39,240	39,240	39,240	39,240

52. 役場庁舎 / 車庫 (大)

方 向 性	長寿命化	本庁舎に付随する施設です。当初は消防車等を停める施設でしたが、現在は、役場公用車・村営バス等の車庫として有効活用されています。
取 得 価 額	20,480千円	
減価償却率	67.50%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕						
対策コスト(千円)	727	727	727	727	727	727	727	727	727	727

53. 役場庁舎 / 車庫 (小)

方 向 性	長寿命化	本庁舎に付随する施設で、役場公用車・村営バス等の車庫として利用されています。
取 得 価 額	5,600千円	
減価償却率	45.90%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	大規模改造									
対策コスト(千円)	3,500									

12. 公園の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
54	鶴姫公園 / 総合案内所	W	1993	24	C	C	C	B	B
55	鶴姫公園 / 機械室	S	1999	38	B	B	B	B	B
56	鶴姫公園 / 展示棟	W	1999	24	C	C	C	B	B
57	鶴姫公園 / 展望塔	S	1999	38	B	B	B	B	B
58	弁天公園 / 公衆便所	W	1996	15	C	C	C	B	B

(2) 主要施設の役割

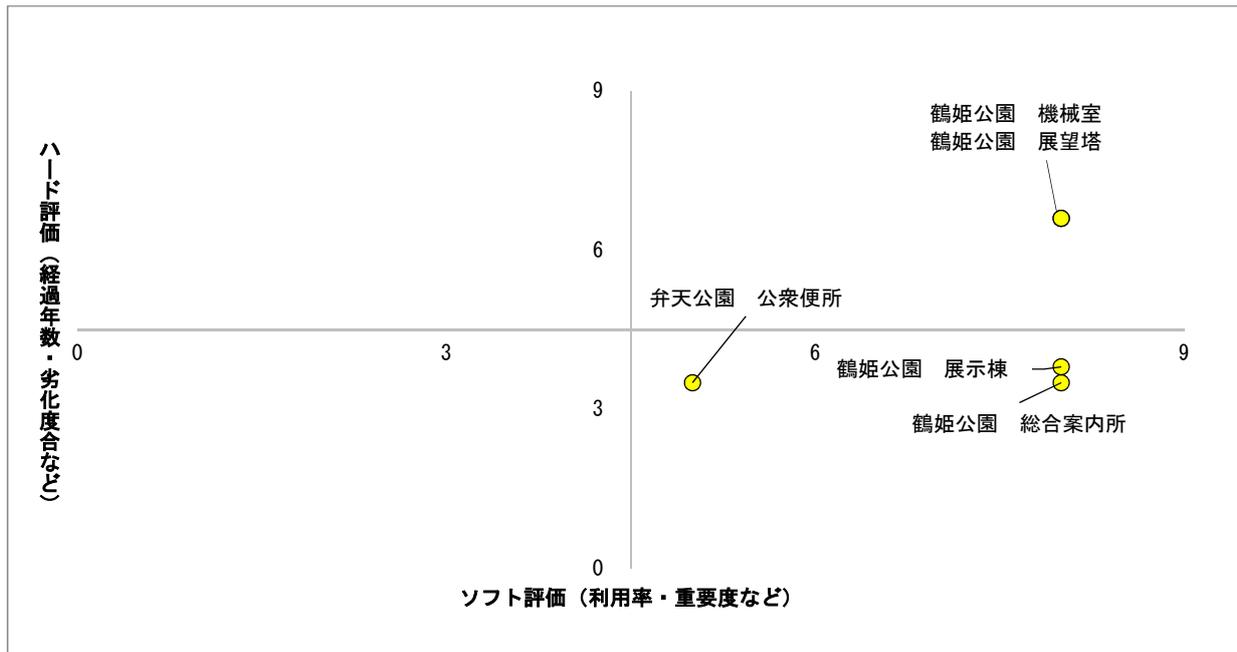
■ 鶴姫公園

本村の豊かな自然と地域資源を生かした公園です。園内には遊歩道も整備されており、「展望塔」においては、360度のパノラマが広がり、晴れた日には淡路・四国まで見渡せます。食事もできる「総合案内所」の利用者数は、年間約2,700人です。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
54	鶴姫公園 / 総合案内所	66,700	95,700	57,420
55	鶴姫公園 / 機械室	3,920	4,620	2,772
56	鶴姫公園 / 展示棟	39,160	58,740	35,244
57	鶴姫公園 / 展望塔	11,651	117,810	70,686
58	弁天公園 / 公衆便所	8,944	7,260	4,356

(4) 施設の具体的な方向性・対策



54. 鶴姫公園 / 総合案内所

方向性	維持	レストランを併設している、高野山・龍神エリアの観光案内所です。標高約1,000mにあり、360° 紀伊山地の山並みを羨望できる施設です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取得価額	66,700千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

55. 鶴姫公園 / 機械室

方向性	維持	総合案内所に水を送るポンプを設置している施設です。
取得価額	3,920千円	
減価償却率	54.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

56. 鶴姫公園 / 展示棟

方 向 性	維持	展望塔へと続く通路のある、木造の施設です。
取 得 価 額	39,160千円	
減価償却率	84.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

57. 鶴姫公園 / 展望塔

方 向 性	維持	標高1,180.3mにある高さ13mの施設です。晴れた日には淡路島・四国まで見渡すことができ、夜は星空を鮮明に見ることができます。
取 得 価 額	11,651千円	
減価償却率	54.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

58. 弁天公園 / 公衆便所

方 向 性	改築	近隣に代替施設がない、高野豆腐伝承館と隣接している施設です。
取 得 価 額	8,944千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	部位修繕	部位修繕	部位修繕	部位修繕						
対策コスト(千円)	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103

13. その他の方針

(1) 施設別状況

建物基本情報					劣化状況評価				
番号	施設名 / 建物名	構造	取得年度	耐用年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
59	北股職員住宅	W	2015	22	A	A	A	B	B
60	グリーンセンター / 食堂	S	1965	31	C	C	C	C	C
61	グリーンセンター / 便所	W	2002	15	C	C	C	B	B
62	大股公衆便所	W	2002	15	C	C	C	B	B
63	旧野川小学校教職員住宅	W	1988	22	C	C	C	C	B
64	野迫川小中学校教職員住宅 / 住宅 1号棟	W	1990	22	C	C	C	C	B
65	野迫川小中学校教職員住宅 / 住宅 2号棟	W	1990	22	C	C	C	C	B
66	野迫川小中学校教職員住宅 / 職員住宅 1号棟	W	1986	22	C	C	C	C	B
67	野迫川小中学校教職員住宅 / 職員住宅 2号棟	W	2012	22	B	B	B	B	B

(2) 主要施設の役割

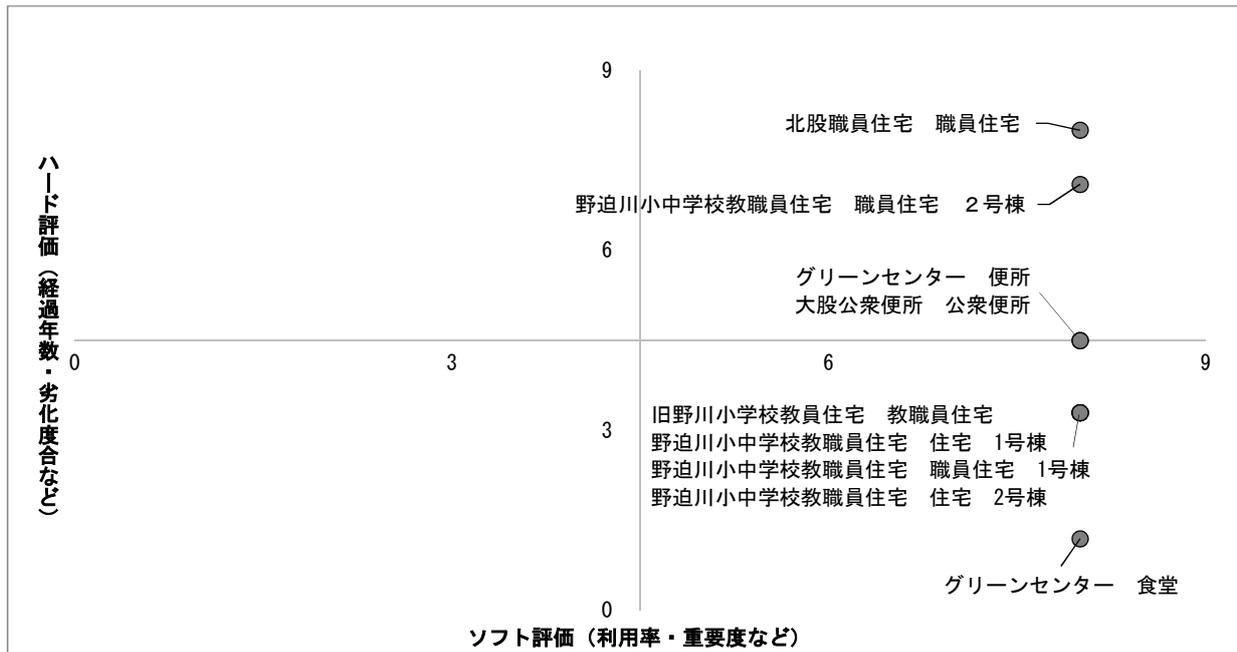
■グリーンセンター

村の観光客や役場の職員に親しまれている食堂施設です。運営を委託しています。現在は平日のみの営業となっています。

(3) 再取得・長寿命化コストの試算

番号	施設名 / 建物名	取得価額 (千円)	改築（建替え） 費用（千円）	長寿命化改修 費用（千円）
59	北股職員住宅	25,344	46,080	27,648
60	グリーンセンター / 食堂	13,038	19,080	11,448
61	グリーンセンター / 便所	11,408	11,160	6,696
62	大股公衆便所	3,312	3,240	1,944
63	旧野川小学校教職員住宅	39,852	87,480	52,488
64	野迫川小中学校教職員住宅 / 住宅 1号棟	11,485	18,000	10,800
65	野迫川小中学校教職員住宅 / 住宅 2号棟	19,137	28,800	17,280
66	野迫川小中学校教職員住宅 / 職員住宅 1号棟	42,846	39,240	23,544
67	野迫川小中学校教職員住宅 / 職員住宅 2号棟	63,374	82,800	49,680

(4) 施設の具体的な方向性・対策



59. 北股職員住宅 / 職員住宅

方向性	長寿命化	単身者用で4部屋あり、うち2部屋は隣接する奈良県広域消防組合野迫川分署の消防隊員の待機場所として利用されています。
取得価額	25,344千円	
減価償却率	18.40%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

60. グリーンセンター / 食堂

方向性	維持	村の観光客や役場の職員に親しまれる食堂施設です。村で建築し、運営を委託しています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取得価額	13,038千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

61. グリーンセンター / 便所

方 向 性	維持	グリーンセンターの利用者のための施設です。グリーンセンター食堂の方向性と一致させて「維持」としています。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	11,408千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

62. 大股公衆便所 / 公衆便所

方 向 性	改築	観光客のほか、伯母子岳のスタート地点にあるため登山客にも利用される施設です。木造のため、長寿命化は行わず、改築を検討しています。
取 得 価 額	3,312千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程	大規模改造									
対策コスト(千円)	810									

63. 旧野川小学校教職員住宅 / 教職員住宅

方 向 性	維持	全6部屋の教職員住宅です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	39,852千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

64. 野迫川小中学校教職員住宅 / 住宅 1号棟

方 向 性	維持	全1部屋の教職員住宅です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	11,484千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

65. 野迫川小中学校教職員住宅 / 住宅 2号棟

方 向 性	維持	全2部屋の教職員住宅です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	19,137千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

66. 野迫川小中学校教職員住宅 / 職員住宅 1号棟

方 向 性	維持	全2部屋の教職員住宅です。当面は継続的な修繕を行いつつ、施設の方向性について協議を進めます。
取 得 価 額	42,846千円	
減価償却率	100.00%	

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

67. 野迫川小中学校教職員住宅 / 職員住宅 2号棟

方 向 性	長寿命化	全4部屋で、現在利用されている施設です。従前6部屋あったものを、2012年に4部屋に改築した施設です。
取 得 価 額	63,374千円	
減価償却率	32.20%	

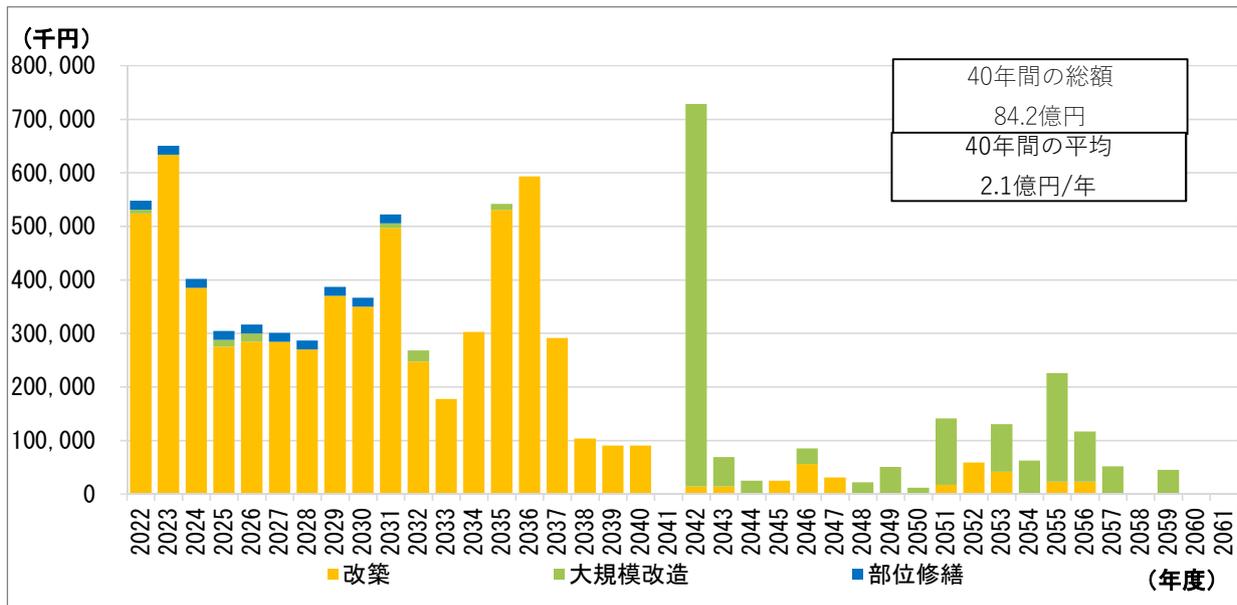
年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
工程										
対策コスト(千円)										

V まとめ

1. 個別施設計画の達成による財政効果

建物の長寿命化に取り組みながら施設の統廃合についても検討を進めるといふ本計画の方針を実施した場合、つまり従来型から長寿命化型へ対応した場合、その財政効果は39.5億円と試算されました。費用は年度毎に異なるため、本計画を着実に実行しつつ、施設の利用や劣化度合の把握を今まで以上に行うことで、将来的な計画の更新を見据え、検討を始める必要があります。

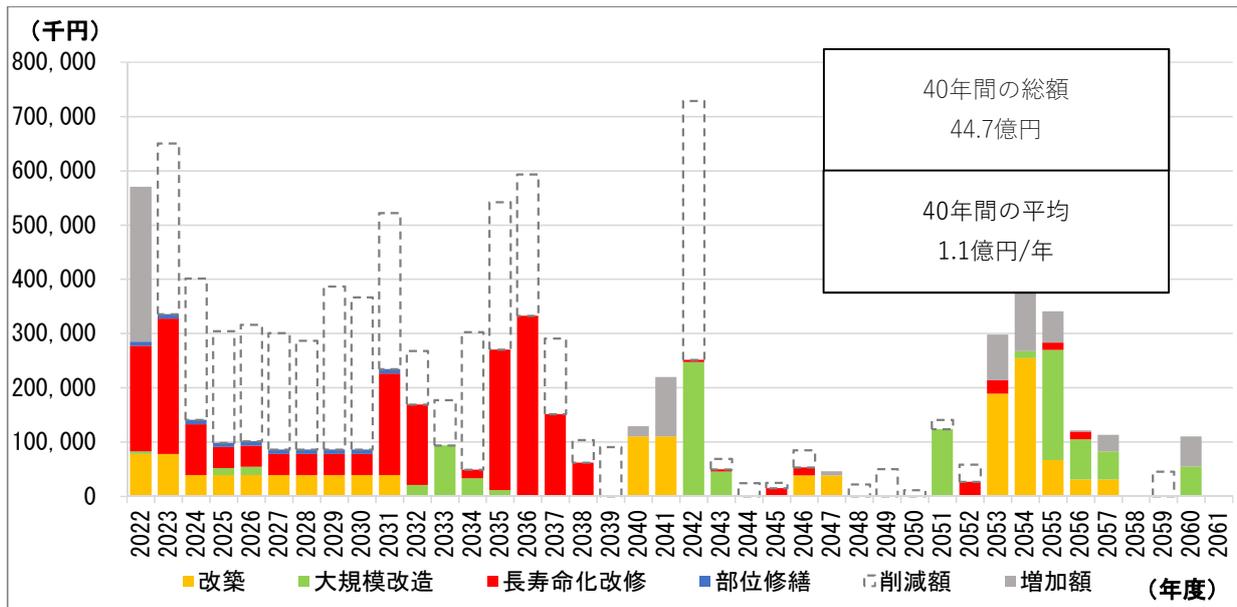
◆単純更新した場合の費用◆



(単位：千円)

施設分類	2022～ 2031年	2032～ 2041年	2042～ 2051年	2052年～ 2061年	合計
①市民文化系施設	1,192,280	247,160	359,860	-	1,799,300
②社会教育系施設	200,800	-	50,200	-	251,000
③スポーツ・レクリエーション系施設	862,177	1,053,360	303,120	263,340	2,481,997
④産業系施設	29,422	207,200	-	51,800	288,422
⑤学校教育系施設	1,023,664	259,380	246,708	64,845	1,594,597
⑥子育て支援施設	62,700	-	15,675	-	78,375
⑦保健・福祉施設	-	298,260	-	74,565	372,825
⑧医療施設	89,835	25,600	36,600	23,600	175,635
⑨行政系施設	403,170	51,200	112,100	12,800	579,270
⑩公園	22,961	284,130	-	71,033	378,124
⑪その他	196,200	32,220	62,550	128,880	419,850
合計	4,083,210	2,458,510	1,186,813	690,863	8,419,396

◆施設毎の方向性に基づいて進めた場合の費用◆



(単位：千円)

(単位：千円)	2022～ 2031年	2032～ 2041年	2042～ 2051年	2052年～ 2061年	合計	削減効果
①市民文化系施設	232,086	368,216	123,580	54,980	778,862	△ 1,020,438
②社会教育系施設	-	-	-	-	-	△ 251,000
③スポーツ・レクリエーション系施設	381,807	486,648	229,374	263,970	1,361,799	△ 1,120,198
④産業系施設	29,422	124,320	-	51,800	205,542	△ 82,880
⑤学校教育系施設	414,612	127,133	45,623	508,530	1,095,897	△ 498,700
⑥子育て支援施設	-	-	-	-	-	△ 78,375
⑦保健・福祉施設	-	178,956	-	74,565	253,521	△ 119,304
⑧医療施設	77,600	-	19,400	-	97,000	△ 78,635
⑨行政系施設	403,170	30,720	106,500	12,800	553,190	△ 26,080
⑩公園	1,031	-	7,260	-	8,291	△ 369,833
⑪その他	810	32,220	-	80,568	113,598	△ 306,252
合計	1,540,539	1,348,213	531,737	1,047,213	4,467,701	△ 3,951,695

2. 個別施設計画における現状認識と推進体制

(1) 課題に対する現状認識

本村においても全国の状況と同様に公共施設の老朽化が進行し、多くの施設が更新時期を迎える中、少子高齢化による税収の減少や社会保障経費の増加などにより厳しい財政見通しであることに変わりはなく、全ての公共施設の数や規模をそのまま維持管理し、更新していくことは難しいと考えられます。このように財政状況が厳しさを増す中、村民のニーズに対応したまちづくりに対応するため、老朽化した施設の長寿命化、継続使用、廃止を計画的かつ効率的に実施していきます。

本計画にて各施設の「ハード評価」と「ソフト評価」を実施したことで、施設のあり方が見える化されました。今後は各施設の方向性に対して具体的な行動を起こさなければならない選択に迫られますが、この見える化された情報を活用し、具体的な行動の優先順位付けを行っていきます。

(2) 推進体制

「野迫川村総合計画」や「野迫川村公共施設等総合管理計画」を前提とすることにより、公共施設等の現状や課題を統一的に把握し、維持、保全等の管理を全庁的に取り組みます。また、施設利用者や村民との情報共有や合意形成にあたっては、随時情報提供を行い、村全体で共有化を図ります。

<参考資料>

【基本的な用語】

長寿命化	建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
保全	建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能や機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断、改修等がある。
予防保全	損傷が軽微である早期段階から、性能や機能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
維持管理	建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会的・経済的に必要とされる性能や機能を確保し、保持し続けるため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。
更新	既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は、「改築」と同義である。
改築	老朽化により構造上危険な状態にあたり、利用上、著しく不適当な状態にあたりする既存の建物を「建て替える」こと。
修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものとおおむね同じ位置におおむね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。
大規模改修	一定の年数が経過することにより通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や建物の用途変更に伴う改装等を指す。
長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、性能や機能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。

【各計画の概要】

インフラ 長寿命化基本計画	国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、維持管理・更新に係る産業の競争力を確保するための方向性を示すものとして、国や地方公共団体、その他民間企業等が管理するあらゆるインフラを対象に策定された基本計画。(2013(平成25)年11月インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定)
インフラ長寿命化計画 (行動計画)	インフラ長寿命化基本計画において、各インフラを管理・所管する者が、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにするものとして策定することとされた計画。地方公共団体が策定する行動計画は「公共施設等総合管理計画」に該当するものである。
個別施設毎の長寿命化計画 (個別施設計画)	インフラ長寿命化基本計画において、各インフラの管理者が、個別施設毎の具体的な対応方針を定めるものとして策定することとされた計画。

野迫川村個別施設計画

野迫川村役場 総務課

奈良県吉野郡野迫川村大字北股84番地

電話：0747-37-2101